

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科 目： 現代の国語

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：宮川 友里

使用教科書：（ 第一学習社『高等学校 標準 現代の国語』

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】社会生活で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	単元：基本的な国語常識の習得 【知】正しい漢字の読み書き、誤字の訂正、四字熟語、正しい文章表現、適切な接続詞の活用等 【思】論理的文章の基本を理解し、内容を正しく理解する。 【学】漢字小テストに積極的に取り組む意欲を身に付ける。ＩＣＴ機器を活用し、正しい知識を身に付けようとする。文章を簡潔に書く。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	単元：世界を広げる 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】文章の展開を正しく理解し、筆者の主張を正確に読み取ろうとする。 【学】読書体験を通して多様性への理解を深め、自身の生活に生かそうとする態度を身に付ける。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	振り返りテスト						○	○		1
2 学期	単元：人間と文化 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】論理的な文章について段落構成を理解し、筆者の主張を正しく理解する。水に対する西洋の価値観の違いを考える。 【学】異文化を理解しようとする意欲を高める。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用	○			・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	単元：現代と社会 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】筆者の主張を正しく理解し、人間と環境や生態系との正しいあり方への理解を深める。 【学】学習によって習得した知識に基づき、自己の将来の生活に生かそうとする意欲を身に付ける。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	11
	振り返りテスト						○	○		1
3 学期	単元：社会と人間 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】筆者の主張を正しく理解し、人間にとって仕事をする意義とは何か正しく読み取る。 【学】貨幣の価値や労働の必要性を正しく理解した上で、自身の将来に結びつけようとする意欲を養う。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用	○			・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	6
	単元：現代と社会 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】筆者の主張を理解し、共感を深めることにより、社会に貢献しようとする思いを読み取る。 【学】世界中を取り巻く戦争と紛争の状況を正しくとらえ、平和な社会を実現しようとする意欲と態度を養う。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7
	振り返りテスト					○	○		合計 55	1

国語 科目 言語文化

教科：国語

科目： 言語文化

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：宮川 友里

使用教科書：（ 第一學習社『高等学校 標準 言語文化』

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元：小説「とんかつ」 文学作品への理解 【知】読み書き、語句の意味調べ、音読 【思】登場人物の心情理解、自己の考えを伝える、読解の根拠を正しく読み取る。 【学】他者の考えを受容する態度、漢字テストへの取り組み姿勢、タブレット端末の積極活用	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組 （予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	単元：小説「鏡」 人物の心理を的確に読み取る。 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味調べ。 【思】物語の展開を正しく理解し、人物の心情変化を正しく読み取る。 【学】読書に親しみ、豊かに表現する態度を身に付ける。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組 （予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	振り返りテスト						○	○		1
2 学 期	単元：詩歌「三十億光年の孤独」 韻文作品の世界を楽しむ。 【知】詩歌の形式や表現技法を理解する。 【思】作者の意図を正しく読み取り、自己の解釈を他者に伝える。 【学】自ら詩歌を作成し、自己表現しようとする態度を養う。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組 （予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	単元：古文「竹取物語」「絵仏師良秀」 古文に親しむ姿勢を身に付ける。 【知】歴史的仮名遣い、古単語を理解する。 【思】古文を正しく理解し、物語の展開を正しく読み取る。 【学】様々な古文作品を読むことにより、自国の文化に対する関心を深める。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用	○			・出席状況 ・漢字小テストへの取組 （予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	振り返りテスト						○	○		1
3 学 期	単元：小説「公園」 日常の何気ない感動を味わう。 【知】読み書き、語句の意味調べ 【思】登場人物の心情理解、心象風景を読み取る。 【学】他者の考えを受容する態度、漢字テストへの取り組み姿勢、タブレット端末の積極活用	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組 （予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	6
	単元：小説「羅生門」 短編小説の世界を味わう。 【知】語句の意味、比喩表現の理解、文学史の位置づけについて理解する。 【思】情景に込められた心情描写、登場人物の心情変化を理解する。 【学】豊かな表現力を身に付ける態度、生涯にわたり文章に親しむ態度を身に付ける。	・教科書 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組 （予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7
	振り返りテスト						○	○		合計 54 1

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：宮川 友里

使用教科書：（ 第一学習社『高等学校 標準 文学国語』 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わりようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	現代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える。 【学】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶ。	・教材 相棒（内海隆一郎） ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	随想 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。 【学】内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	・教材 真珠の耳飾りの少女（原田マハ） ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	振り返りテスト						○	○		1
2 学 期	現代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 【学】内容や構成、展開、場面設定や表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	・教材 旅する本（角田光代） ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	11
	戦争と文学 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 わたしが一番きれいだったとき（茨木のり子） 死んだ男の残したものは（谷川俊太郎） ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用	○			・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	11
	振り返りテスト						○	○		1
3 学 期	近代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 【学】典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	・教材 鼻（芥川龍之介） ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	6
	創作をする 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写する方法を学ぶ。読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。 【学】本文中の例を参考にして、学習課題に沿って積極的に物語を創作しようとしている。	・教材 物語を創造する〈物語を発現する力〉（佐藤雅彦） ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7
	振り返りテスト						○	○		1
									合計	56

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 国語 科目 国語探究

教科 国語 科目 国語探究 単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年

教科担当者 宮川 友里

使用教科書 (なし)

教科 国語 の目標

【知識及び技能】実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目 国語探究 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読						
1 学 期	取り組む作品とテーマを決定し、作品について研究発表を行う。 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 【学】表現や描写の特徴とその効果について、積極的に理解を深めようとしている。	・教材 ※日本文学作品（近代） ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○		・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	19
	振り返りテスト							○	○		1
2 学 期	取り組む作品とテーマを決定し、作品について研究発表を行う。 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 【学】表現や描写の特徴とその効果について、積極的に理解を深めようとしている。	・教材 ※日本文学作品（現代） ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○		・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	22
	振り返りテスト							○	○		1
3 学 期	取り組む作品とテーマを決定し、作品について研究発表を行う。 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 【学】表現や描写の特徴とその効果について、積極的に理解を深めようとしている。	・教材 ※翻訳小説 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○		・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	13
	振り返りテスト							○	○		1

八丈高等学校定時制課程 令和6年度 国語科 現代文A 年間授業計画

教 科：国語 科 目：現代文A 単位数：2単位

対象学年組：第4学年1組

教科担当者：宮川 友里

使用教科書：（第一学習社『高等学校 改訂版 新編 現代文A』

使用教材：（なし）

	指導内容	現代文Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	文章表現力の学習 自己PR文の作成	- 自己分析を行い、自己PRポイントを明確に言語化できるようにする。 - 原稿用紙の正しい使い方について理解させる。 - スピーチ時の注意点を理解させる。	○ワークシート ○小テスト	4
5月	自己PR文の完成 自己PRスピーチ 学習課題テスト・振り返り週間		○ワークシート ○小テスト ○振り返りテスト	7
6月	小説「卒業」	- 些細な出来事をきっかけに心情が変化することに留意させ、心情の変化を丁寧に捉えさせる。 - 読解を通じて、働くことや大人になることについて問いかけ、将来の展望について考えさせる。	○ワークシート ○小テスト	8
7月	文章表現の完成 学習課題テスト・振り返り週間	- 口語表現との違いに留意し、正しい文章の書き方を身につけさせる。 - 敬語の基本的な機能について確認した上で、具体的な場面で敬語がどのように用いられているか確認する。	○ワークシート ○小テスト ○振り返りテスト	3
9月	コミュニケーションスキル学習		○ワークシート ○小テスト	4
10月	評論「支え合うことの意味」 学習課題テスト・振り返り週間	抽象的な表現に具体例や言い換えを対応させ、意味を理解・把握させる。また、指示語や引用文に着目することを通じて、論理展開を正確に読み取らせる。	○ワークシート ○小テスト ○振り返りテスト	7
11月	小説「山月記」	- 主人公が置かれた状況を受け入れようと苦悩し、自分自身の性格や過去の生き方にその原因を求めていくプロセスを把握させる。 - 作中でさまざまな意味で用いられる「人間」という言葉について、それぞれの意味を理解した上で、「人間」とはどのようなものかについて考えを深めさせる。	○ワークシート ○小テスト	6
12月	小説「山月記」 学習課題テスト・振り返り週間		○ワークシート ○小テスト ○振り返りテスト	5
1月	1年間のまとめ 学習課題テスト・振り返り週間		○ワークシート ○小テスト ○振り返りテスト	6

地理総合

單位

教科 地理歷史

の目標： 歴史的背景を踏まえた考察ができるようにする。

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに注目して、概念などを活用して多面的・多角的に考慮したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

の目標： 授業を通し、異なる文化や価値観を理解・共有できる人材を育成する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
1 学 期	A単元 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理システムの役割や有用性などについて理解する。 地図や情報システムを用いて、その情報を収集し、読み取りまとめる基礎的・基本的な技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに注目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多目的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・教科書の図表から季節の変化・経度・緯度の考え方を読み取らせる ・プリント	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別検査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				8
	B単元 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・実際に時差を求めさせる。 ・世界にある国境を画像で紹介して、特徴、国境が決められた歴史的背景について考察させる。 ・地図帳 ・プリント	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別検査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				8
	C単元 生活文化の多様性 【知識及び技能】 世界の人々の生活文化を基に、生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・世界各地の多様な生活文化を考察するにはどのような方法があるか、教科書や資料集を利用して、考察させる。 ・プリント	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別検査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				9

2 学 期	A単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。	・気候の違いによる植生、生活様式の違いについて考察させる。 ・プリント	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	9
	B単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向や課題相互の関連性などについて大観し理解する。地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・現在、世界規模・地球規模で抱えている環境問題について考察させる。 ・プリント	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	9
3 学 期	A単元 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考・判断・表現等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・先進国・発展途上国それぞれが抱えている都市問題について、多面的・多角的にどうすれば持続可能な地域づくりができるか考察させる。 ・プリント	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	
							合計
							90

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 地歴公民 科目 公共

教科：地歴公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：増田 潔

使用教科書：（ 教育図書 公共 ）

教科 地歴公民

の目標：

- 【知識及び技能】学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す
- 【思考力、判断力、表現力等】社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて、合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うこととくに重点を置く。
- 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的、対話的な授業を通し、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す	社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて、合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うこととくに重点を置く。	さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的、対話的な授業を通し、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元：公共と人 【知】 ・青年期が人生において持つ意味を理解する。 ・日本における「おおやけ」と欧米における「パブリック」の違いについて理解する。 【思】 ・公共的空間とはどのような空間か自分の体験や具体的な事例に基づき思考する。 ・現在の日本社会の公共的なあり方は先人の政治的取り組みの成果であることを表現する。 【学】 ・多様な人間と協働する公共的空間の担い手としての自覚を深める。 将来自分が働くことを想定し、自分の労働力をどのように生かすべきか自覚を深める。	【指導事項】 ・人は一人では生きられない ・人はどのようにつながるのか ・対話から生まれる公共 ・日本の公共思想 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				6
	単元：公共と倫理 【知】 ・功利主義と義務論の相違について理解する。 ・温暖化の原因について理解する。 【思】 ・社会現象や政策判断を、功利主義、義務論の考え方に基づき表現する。 ・地球温暖化問題について、自分の身の回りの生活と、世界規模の視点の双方の観点から、考えを表現する。 【学】 ・学習した内容を自らの倫理観、過去の行為に照らし合わせ、思考する。 ・CO ₂ 削減のためには、一定程度の負担を引き受けることが必要であることを認識し、当事者として何をすべきか思考する。	【指導事項】 ・功利主義と義務論 ・地球温暖化問題 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				6
	単元：公共の基本原則 【知】 ・自分にとって有益な選択肢を主張するだけでなく、不利益をこうむる他者への配慮ができるようになる。 ・異なる意見を持つ他者の考え方を理解する。 【思】 ・公共的な観点から、表内の選択肢について自らの考えを表現する。 ・表内の反論に対して、自らの考えを表現する。 【学】 相手の意見を聞き、複数の選択肢を横断し、最適な解を模索する。	【指導事項】 ・生徒会予算をどう分配するか ・意見が分かれたときにどう決めるか ・民主政治の歴史 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				4
	単元：現代社会の諸課題 【知】 ・法と道徳との相違点について理解する。 ・日本の法体系、法の分類、法の対象について理解する。 【思】 ・法の限界を理解し、法の実効性を高めるための手段について思考する。 ・よりよい社会の実現のために法がどのような機能を果たしているか表現する。 【学】 法について興味関心を持たせる。	【指導事項】 ・法と社会 ・日本の司法制度 ・国民の司法参加 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				4

2 学 期	単元：現代社会の諸課題 政治 【知】 ・民主主義とは、国民に主権があるという基本的な考え方に基づき、これを実現するためにさまざまな選挙制度や法律があることを理解し、その内容を読み取る。 【思】 ・個々の選挙制度についての利点と難点を、民意をよりよく反映させるという観点から説明することができるようになる。 【学】 ・選挙に関心をもち、18歳になることを想定して、主権者としての自覚を深める。	【指導事項】 ・選挙と政治参加 ・公正な世論の形成 ・国会と内閣 ・国家主権と領土問題 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	11
	単元：現代社会の諸課題 経済 【知】 ・仕事と私生活の両立を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の意義を理解する。 ・日本経済の成長してきた経緯を踏まえ、今後の展望について理解する。 【思】 職業のあり方が産業構造の変化とともに変わること念頭に、自らが就労する近い将来を見据えて、働くことの意味と価値を表現する。 【学】 ・働くことの意味について思考し、経済的主体としての自覚を深める。	【指導事項】 ・職業選択 ・雇用と労働 ・労働者の権利 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	11
3 学 期	単元：現代社会の諸課題 情報 【知】 ・メディアとはテレビやスマートフォンなどの単なる機器ではなく、情報環境そのものであることを理解する。 ・現代人はメディアを介して人とつながっていることから、社会や公共を考えるうえでのメディアの重要性を理解する。 【思】 ・なぜ人はスマートフォンにかじりついているのか、それを通じて何をしようとしているのか、自らとメディアの関係について考える。 ・社会に生きる人間の多様性と、ネット空間の閉鎖性を理解し、ネットを公共的空間にするための方策について思考している。 【学】 ・メディア論に関心をもち、より深く学ぼうという意欲をもつ。 ・フィルターバブルの外に出るための試みを実践する。	【指導事項】 ・「つながりっぱなし」の私 ・インターネットは公共圏か？ 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	11
							合計
							53

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者： 増田 潔

使用教科書：（ 清水書院 私たちの歴史総合 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】日本の歴史と世界の歴史の関わりを理解し、学んだ知識をもとに資料の分析、情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】歴史的事柄を、多面的・多角的に考察し、現代社会に見られる課題解決に向け、考察できる力を身に付け、それらを議論できる力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度と、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自己の能力を変革・向上させようとする力を身につける。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、考察するための基本的な知識を取得し、知識を用いて諸資料から各事象の歴史的意義を調べたり仮説を立てる。また、グラフ、図、史料の読解力を獲得する。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを文章でまとめ、説明したり、それらを基に議論する。	自己の歴史に対する認識を深め、諸資料から多角的・多面的に歴史的事象の意義を判断し、よりよい社会の実現をめざして、自己の認識や能力を変革・向上させようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 近世の日本と世界 【知識及び技能】 基本的な知識を身につけ、絵画や風刺画から必要な情報を読み取る力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 学びから歴史的事象について深い理解を獲得し、それを基に協同活動を行い、表現する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを活かし能力を向上させ、それを基に共同活動を行い、その大切さを実感させる。	江戸時代の外交 ・東アジアの17世紀の国際秩序 ・西欧で始まったグローバル化 ・アジアへ向かうヨーロッパ諸国 ・イギリス産業革命で変わる世界 ・イギリスの繁栄と国際分業体制 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	2
	単元 国民国家と明治維新 【知識及び技能】 授業に必要な基本的な知識を身につけ、知識をもとに必要な絵画や風刺画から必要な情報を読み取る力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識・技能を利用し、その内容を協同活動で確認し、能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 能力を向上させ、認識を深召させる。	国民国家と立憲体制 ・二つの市民革命と近代民主主義社会の成立 ・国民統合とナショナリズム ・明治維新期の日本と世界 ・近代国家への意向と憲法改正 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	18
2 学 期	単元 第一次世か大戦と大衆社会 【知識及び技能】 授業に必要な基本的な知識を身につけ、知識をもとに必要な絵画や風刺画から必要な情報を読み取る力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識・技能を利用し、その内容を協同活動で確認し、能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 能力を向上させ、認識を深召させる。	第一次世界大戦と国際社会 ・第一次世界大戦 ・社会主義革命 ・国際協調体制 ・アジアの民族運動 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	19
	単元 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 授業に必要な基本的な知識を身につけ、知識をもとに必要な絵画や風刺画から必要な情報を読み取る力を身につける。	国際協調の挫折と2度目の世界大戦 ・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・日本の大陸進出 ・第二次世界大戦	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				

3 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識・技能を利用し、その内容を協同活動で確認し、能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 能力を向上させ、認識を深召させる。	指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換		○	○	○	14
							合計 53

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 公民 科目 政治・経済

教 科： 公民 科 目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1組

教科担当者： 増田 潔

使用教科書：（ 実教出版 最新政治・経済 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】多様化する現代社会を、資料やデータを活用し、歴史的な事柄と組み合わせながら社会性を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】現代社会における社会的課題や問題にたいして、幸福・正義・公正などの概念を活用して課題解決の方法を考え、物事を多面的に、多角的に分析しながら自分の考えや意見を発表できる力を育身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】現代社会における社会的課題や問題などに対して主体的に考え、解決する力を身につける。

科目 政治・経済	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
現実社会が抱える課題の解決に向けて、概念や理論について理解し資料から、これからの社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身につける。	国家・社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論」を活用し、現実社会に見られる複雑な課題を把握する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 現代社会の諸課題① 【知識及び技能】 人口減少社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働をめぐる問題、農業と食料問題、人種・民族問題など、政治や経済の諸問題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できる力を身につける。	・雇用と労働をめぐる問題 ・人種・民族問題 ・農業と食糧問題 ・少子高齢社会と社会保障 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				
	B 現代社会の諸課題② 【知識及び技能】 公害・環境問題による社会保障問題がどのように日本経済に影響しているかを理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できる力を身につける。	・地域社会の変貌と住民社会 ・地球環境問題 ・SDG s の取組 （エネルギー・ゴミ） 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				
2 学 期	C 現代国家と民主政治 日本国憲法と基本的人権 【知識及び技能】 近代国家と民主政治の関係性を歴史的事柄から学び、現在の日本の政治が抱えている問題を理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できる力を身につける。	・民主政治の成立 ・民主政治のしくみと課題 ・日本国憲法の成立 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート				

1 期	D 現代の国際政治 【知識及び技能】 国際社会においての日本の役割を歴史的 事柄と、現在の国際情勢を学び、理 解したうえで解決策を考える力を身 に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情 報を適切に選択して効果的に活用し つつ諸課題について、持続可能な社 会の形成という視点から望ましい解 決の在り方について多面的・多角的 に考察し、社会の変化や様々な立 場、考え方を踏まえ公正に判断でき る力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を 意欲的に探究し、望ましい解決の在 り方について客観的に考察できる力 を身につける。	・国際社会と国際法 ・国際連合と国際化協力 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交 換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中にお ける態度（興味・関心・意欲） ④単元別考 査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワーク シート	○	○	○	12
	E 日本の平和主義と国際平和 現代の経済社会 現代の国際経済 【知識及び技能】 日本と諸外国とのこれまでの関わり 方を歴史的な事柄から学び、平和主義 に至るまでの経過を理解し、知識を 身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情 報を適切に選択して効果的に活用し つつ諸課題について、持続可能な社 会の形成という視点から望ましい解 決の在り方について多面的・多角的 に考察し、社会の変化や様々な立 場、考え方を踏まえ公正に判断でき る力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を 意欲的に探究し、望ましい解決の在 り方について客観的に考察できる力 を身につける。	・平和主義と自衛隊 ・企業の役割 金融の役割 ・日本の財政の課題 ・貿易と国際収支 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交 換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中にお ける態度（興味・関心・意欲） ④単元別考 査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワーク シート	○	○	○	10
3 学 期							合計
							54

八丈高等学校定時制課程 令和6年度 教科地歴 科目地理A 年間授業計画

教科：地歴公民 科目：地理A 単位数：2単位
対象学年組：第4学年1組
教科担当者：増田 潔
使用教科書：（帝国書院 高等学校 新地理A）
使用教材：（なし）

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	グローバル化が進む世界	結びつきを強める現代社会、交通の発展、宗教分類について理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む 態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	4
5月	中国の生活・文化 韓国の生活・文化	中国における民族文化、朝鮮半島の歩みについて理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む 態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	6
6月	東南アジアの生活・文化	東南アジアの民族文化、モノカルチャー経済の形成について理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む 態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	7
7月	南アジアの生活・文化 中央・西アジアの生活・文化	ヒンドゥー教と人々の生活、イスラームによる民族形成について理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む 態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	3
8月				
9月	ヨーロッパの生活・文化①	現代ヨーロッパ形成の歴史、ヨーロッパの歩みと文化について理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む 態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	4
10月	ヨーロッパの生活・文化②	EUの成り立ち、ヨーロッパの農業と工業文化について理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む 態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	7
11月	ロシアの生活・文化 アメリカの生活・文化	ロシア社会と社会主義、移民大国アメリカについて理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む 態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	6

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月	複雑にからみ合う地球的課題	熱帯林破壊などの環境問題、エネルギー問題について理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む 態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	3
1 月	現代の経済社会（1）	企業の役割、金融の役割について理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む 態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	5

科目 数学 I

單位數： 2 單位

使用教科書：（数研出版 新 高校の数学Ⅰ

の目標：

数学における基本的な概念や原理・法則の体系的理解、数学的な問題解決に必要な知識等を身に付けている。

事象を数学的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。

問題解決などにおいて、粘り強く柔軟に考え、その過程を振り返り考察を深めたり評価・改善したりする態度を身に付けている。

の目標：

[illegible]

数学 科目 数学 I

單位數： 2 單位

高校の数学 I

の目標：

数学における基本

事象を数学的に考

問題解決などにお

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と計量、データの分析について的基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数象を数式化したり、数式的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	図形と計量、データの分析を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や物の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、三角比の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力等を身に付ける。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く数学的問題の探偵に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元：直角三角形 【知】三平方の定理について理解することができる。 【思】三平方の定理について数学的な考察ができる。 【学】三平方の定理を活用し辺の長さを求めようとする。	【指導事項】 ①三平方の定理 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
	単元：三角比 【知】三角比の定義について理解することができる。 【思】三角比について数学的な考察ができる。 【学】三角比に関心をもち理解しようとする。	【指導事項】 ①三角比 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
	単元：三角比の利用 【知】三角比の活用方法について理解している。 【思】三角比を用いて辺の長さや角度を求めることができる。 【学】具体的な事象の考察に三角比を活用しようとする。	【指導事項】 ①三角比の利用 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	6
2 学期	単元：三角比の相互関係 【知】相互関係について理解している。 【思】三角比の相互関係を利用し、三角比の値を求めることができる。 【学】三角比の相互関係に関心をもち活用しようとする。	【指導事項】 ①三角比の相互関係 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	6
	単元：鈍角の三角比 【知】座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解することができる。 【思】座標を用いて鈍角の三角比を考察することができる。 【学】鈍角の三角比に関心をもち理解しようとする。	【指導事項】 ①不等式 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	6
	単元：正弦定理 【知】正弦定理を理解し、活用方法を身に付ける。 【思】正弦定理を利用し、外接円の半径や角度、辺の長さを求めることができる。 【学】正弦定理に関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①不等式の解 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	6
3 学期	単元：余弦定理 【知】余弦定理を理解し、活用方法を身に付ける。 【思】余弦定理を理解し、辺の長さや角度を求めることができる。 【学】具体的な事象に余弦定理を活用しようとする。	【指導事項】 ①二次関数のグラフ 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	5
	単元：三角形の面積 【知】三角比を用いた三角形の面積の求め方について理解している。 【思】三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 【学】三角比を用いた面積公式に関心をもち活用しようとする。	【指導事項】 ①三角形の面積 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
	単元：データの整理 【知】データに関する基本的な意味を理解している。 【思】データを整理し全体の傾向を見出すことができる。 【学】身の回りのデータに関心をもち考察する。	【指導事項】 ①データの整理 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
3 学期	単元：データの代表値 【知】代表値の基礎的な知識を身に付けている。 【思】データの代表値を求めることができる。 【学】身近なデータの代表値に関心をもち、考察しようとする。	【指導事項】 ①データの代表値 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
	単元：データの散らばり 【知】標準偏差と分散の基本的な意味について理解する。 【思】標準偏差や分散を理解し考察することができる。 【学】具体的な事象の考察に標準偏差や分散を活用しようとする。	【指導事項】 ①標準偏差 分散 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	3
	単元：データの相関 【知】データの相関について理解している。 【思】表から相関関係を見出したり、相関係数を求めることができる。 【学】具体的な事象とデータの相関を結び付け調べようとしている。	【指導事項】 ①データの相関 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別考查・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別考查・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	3
							合計

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科

数学

科目 数学Ⅱ

教科：数学

科目：数学Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者： 鈴木 耕大

使用教科書：（ 数研出版 新 高校の数学Ⅱ ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則の体系的理解、数学的な問題解決に必要な知識等を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決などにおいて、粘り強く柔軟に考え、その過程を振り返り考察を深めたり評価・改善したりする態度を身に付けている。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
複素数と方程式、図形と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	複素数と方程式、図形と方程式を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元：式の展開と因数分解 【知】式の展開と因数分解について理解することができる。 【思】式の展開と因数分解について数学的な考察ができる。 【学】式の展開と因数分解について関心をもち、活用することができる。	【指導事項】 ①式の展開と因数分解 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
	単元：分数式の計算 【知】分数式の計算方法について理解している。 【思】分数式の計算について数学的な考察ができる。 【学】分数式の計算に関心をもち活用しようとする。	【指導事項】 ①分数式の計算 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
	単元：複素数 【知】複素数と計算方法について理解している。 【思】複素数について数学的な考察ができる。 【学】複素数について関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①複素数 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	6
	単元：多項式のわり算 【知】多項式のわり算について理解している。 【思】多項式のわり算について数学的な考察ができる。 【学】多項式のわり算に関心をもち活用しようとする。	【指導事項】 ①多項式のわり算 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	5
	単元：因数定理 【知】因数定理について理解している。 【思】因数定理について数学的な考察ができる。 【学】因数定理について関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①因数定理 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
2 学期	単元：高次方程式 【知】高次方程式について理解している。 【思】高次方程式について数学的な考察ができる。 【学】高次方程式について関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①高次方程式 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	5
	単元：直線の方程式 【知】直線の方程式について理解している。 【思】直線の方程式について数学的な考察ができる。 【学】直線の方程式について関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①直線の方程式 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	8
	単元：円の方程式・円と直線 【知】円の方程式・円と直線について理解している。 【思】円の方程式・円と直線について数学的な考察ができる。 【学】円の方程式・円と直線について関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①円の方程式・円と直線 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	3
3 学期	単元：三角関数 【知】三角関数について理解している。 【思】三角関数について数学的な考察ができる。 【学】三角関数に関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①三角関数 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
	単元：三角関数のグラフ 【知】三角関数のグラフについて理解している。 【思】三角関数のグラフについて数学的な考察ができる。 【学】三角関数のグラフについて関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①三角関数のグラフ 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	6
	単元：加法定理 【知】加法定理について理解している。 【思】加法定理について、数学的な考察ができる。 【学】加法定理について関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①加法定理 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	【知識・技能】 単元別検査・ワークシート 【思考・判断・表現】 単元別検査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度	○	○	○	4
							合計 53

八丈高等学校定時制課程 令和6年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ 年間授業計画

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 2 単位
対象学年組： （第4 学年1 組）
教科担当者： 鈴田 耕大
使用教科書： （ 新 数学Ⅱ（数研出版） ）
使用教材： （ なし ）

	指導内容	科目 数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	指数関数 ・ 指数の拡張 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解すること。	・ 累乗や3乗根、4乗根の値を求めることができる。 ・ 指数法則や累乗根の性質を利用して、乗法や除法の計算を行うことができる。 ・ 分数の指数・負の指数・0の指数について理解する。	【関心・意欲・態度】 出席状況・授業態度 【見方・考え方】 単元別考查・ワークシート 【技能】 単元別考查・ワークシート 【知識・理解】 単元別考查・ワークシート	5
5 月	指数関数 ・ 指数関数とグラフ 指数関数とそのグラフの特徴を理解し、それらを事象の考察に活用すること。	・ 指数関数のグラフの特徴を踏まえ、の形の指数関数のグラフがかかる。 ・ 指数が有理数の範囲まで拡張されている数について、指数関数の特徴を踏まえて大小関係を求めることができる。 ・ 指数方程式、不等式を解くことができる。	【関心・意欲・態度】 出席状況・授業態度 【見方・考え方】 単元別考查・ワークシート 【技能】 単元別考查・ワークシート 【知識・理解】 単元別考查・ワークシート	5
6 月	対数関数 ・ 対数の性質 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。	・ 対数の定義を理解し、底の変換公式等を用いて対数の値を求めることができる。 ・ 対数の基本的な性質を用いて、加法・減法ができる。	【関心・意欲・態度】 出席状況・授業態度 【見方・考え方】 単元別考查・ワークシート 【技能】 単元別考查・ワークシート 【知識・理解】 単元別考查・ワークシート	5
7 月	対数関数 ・ 対数関数のグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。	・ 対数関数のグラフの特徴を踏まえ、対数関数のグラフがかかる。	【関心・意欲・態度】 出席状況・授業態度 【見方・考え方】 単元別考查・ワークシート 【技能】 単元別考查・ワークシート 【知識・理解】 単元別考查・ワークシート	5
8 月				
9 月	対数関数 ・ 対数関数のグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。 ・ 常用対数 常用対数を用いて整数の桁数を求める。	・ 対数の大小関係を求められる。 ・ 対数方程式、対数不等式を解くことができる。 ・ 常用対数を用いて、自然数の桁数や小数第何位に0でない数が現れるかなどを求められる。	【関心・意欲・態度】 出席状況・授業態度 【見方・考え方】 単元別考查・ワークシート 【技能】 単元別考查・ワークシート 【知識・理解】 単元別考查・ワークシート	5
11 月	微分 ・ 微分係数と導関数 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。	・ 簡単な整式で表された関数について、平均変化率や極限を利用して微分係数や導関数を求めることができる。 ・ 導関数の性質を利用して導関数を求めたり、微分係数を求めることができる。	【関心・意欲・態度】 出席状況・授業態度 【見方・考え方】 単元別考查・ワークシート 【技能】 単元別考查・ワークシート 【知識・理解】 単元別考查・ワークシート	5
11 月	微分 ・ 接線 導関数を利用して接線の方程式を求める。 ・ 関数の増減、極値、最大値、最小値 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用すること。	・ 放物線上の点における接線の傾きや接線の方程式を求めることができる。 ・ 2次や3次の関数について、増減や極値を調べたり、グラフの概形をかくことができる。また区間が制限された最大値や最小値を求めることができる。 ・ 具体的な事象の考察を微分の考え方をを用いることができる。	【関心・意欲・態度】 出席状況・授業態度 【見方・考え方】 単元別考查・ワークシート 【技能】 単元別考查・ワークシート 【知識・理解】 単元別考查・ワークシート	4

	指導内容	科目 数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	積分 ・不定積分と定積分 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めること	・不定積分及び定積分の意味や微分との関係について理解し、2次までの関数の不定積分や定積分の値を求めることができる。	【関心・意欲・態度】 出席状況・授業態度 【見方・考え方】 単元別考査・ワークシート 【技能】 単元別考査・ワークシート 【知識・理解】 単元別考査・ワークシート	4
1 月	積分 ・面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。	・放物線や直線で囲まれた部分の面積を求めることができる。	【関心・意欲・態度】 出席状況・授業態度 【見方・考え方】 単元別考査・ワークシート 【技能】 単元別考査・ワークシート 【知識・理解】 単元別考査・ワークシート	5

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科

理科

科目 科学と人間生活

教科： 理科

科目： 科学と人間生活

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者： 荒井 岳大

使用教科書： (数研出版 科学と人間生活)

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するための観察、実験等に関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につける。

科目 科学と人間生活

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学と人間生活の関わりについて基本的な概念を理解するとともに、科学的に探究する基本的な技能が身につく。	自然の事物・現象と人間生活と関連付けて、得られた情報から、解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを立てたり、振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生命の科学 「ヒトの生命現象」 【知識及び技能】 ・眼の構造や働き、光の受容方法等について理解する。 ・ヒトやそれ以外の生物の光利用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトが視覚を認識するまでの流れを説明できる。 ・盲斑が存在する理由と、日常生活において視界の中に「見えない領域」がないのか考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・目の構造や働きに興味・関心を示している。 生物と光の関係を意欲的に理解しようとしている。	・指導事項 ①眼の構造と働き ②光の情報と生命活動 チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・光の受容及び生命活動と光について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・光の受容及び生命活動と光について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・光の受容及び生命活動と光に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	9
	生命の科学 「微生物とその利用」 【知識及び技能】 ・微生物に関わる一連の科学史および、身の回りで活用されている微生物について理解する。 ・生態系の中での微生物の働きについて興味・関心を示している。 【思考力、判断力、表現力等】 微生物を観察し、微生物の構造を表現できる。 微生物の実験を通して、目に見えない微生物の事象を考察・説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 微生物が人間生活のさまざまな場面に役立っていることを意欲的に理解しようとしている。	・指導事項 ①身の回りの微生物 ②微生物とその発見の歴史 ③発酵食品への微生物の利用 ④乳酸発酵とアルコール発酵 ⑤医薬品への微生物の利用 ⑥生態系における微生物 ⑦環境の浄化と微生物 ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・微生物とその利用について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 ・器具を正しく扱い、実験を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・微生物とその利用について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微生物とその利用に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	9
2 学 期	物質の科学 「衣料と食品」 【知識及び技能】 ・繊維の基本的な性質と用途を知り、その仕組みを理解する。 ・日常摂取している食品について、その物質としての性質を知り、食生活について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・代表的な繊維の名称、成分、製法、分類などを理解し、それぞれの性質と用途の関連性を説明できる。 ・酵素による分解を通じて、消化のしくみを理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・普段着ている衣類がどんな成分か調べ、よく使われている繊維について名称を挙げることができる。 ・日常口にする食品について、その成分である栄養素という視点から分類することができる。	・指導事項 ①衣料と繊維 ②天然繊維 ③化学繊維 ④食品と栄養素 ⑤炭水化物 ⑥タンパク質 ⑦脂質とその他の栄養素 ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・衣料と食品について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 ・器具を正しく扱い、実験を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・衣料と食品について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣料と食品に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	8
	光や熱の科学 「熱の性質とその利用」 【知識及び技能】 ・温度、熱運動について理解する。 エネルギーの種類とその利用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身の回りのものから微粒子の運動について説明することができる。エネルギーの変換の例をあげ、その際の問題点などを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱の性質とその利用について日常生活などに結びつけ意欲的に理解しようとしている。	・指導事項 ①温度と熱運動 ②熱容量・比熱 ③熱の伝わり方 ④仕事や電流と熱の発生 ⑤エネルギーの移り変わり ⑥熱エネルギーの利用 ⑦エネルギー資源の利用 ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・熱の性質とその利用について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 ・器具を正しく扱い、実験を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・熱の性質とその利用について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・熱の性質とその利用に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	9

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科

教科： 理科 科目： 生活の中の科学

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者： 荒井 岳大

使用教科書：（ 数研出版 科学と人間生活 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するための観察、実験等に関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につける。

科目 生活の中の科学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学と人間生活の関わりについて基本的な概念を理解するとともに、科学的に探究する基本的な技能が身につく。	自然の事物・現象と人間生活と関連付けて、得られた情報から、解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを立てたり、振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生命の科学 「ヒトの生命現象」 【知識及び技能】 ・眼の構造や働き、光の受容方法等について理解する。 ・ヒトやそれ以外の生物の光利用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトが視覚を認識するまでの流れを説明できる。 ・盲斑が存在する理由と、日常生活において視界の中に「見えない領域」がないのか考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・目の構造や働きに興味・関心を示している。 ・生物と光の関係を意欲的に理解しようとしている。	・指導事項 ①眼の構造と働き ②光の情報と生命活動 チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・光の受容及び生命活動と光について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・光の受容及び生命活動と光について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・光の受容及び生命活動と光に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	9
	生命の科学 「微生物とその利用」 【知識及び技能】 ・微生物に関わる一連の科学史および、身の回りで活用されている微生物について理解する。 ・生態系の中での微生物の働きについて興味・関心を示している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・微生物を観察し、微生物の構造を表現できる。 ・微生物の実験を通して、目に見えない微生物の事象を考察・説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・微生物が人間生活のさまざまな場面に役立っていることを意欲的に理解しようとしている。	・指導事項 ①身の回りの微生物 ②微生物とその発見の歴史 ③発酵食品への微生物の利用 ④乳酸発酵とアルコール発酵 ⑤医薬品への微生物の利用 ⑥生態系における微生物 ⑦環境の浄化と微生物 チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・微生物とその利用について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 ・器具を正しく扱い、実験を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・微生物とその利用について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微生物とその利用に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	10
2 学期	物質の科学 「衣料と食品」 【知識及び技能】 ・繊維の基本的な性質と用途を知り、その仕組みを理解する。 ・日常摂取している食品について、その物質としての性質を知り、食生活について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・代表的な繊維の名称、成分、製法、分類などを理解し、それぞれの性質と用途の関連性を説明できる。 ・酵素による分解を通じて、消化のしくみを理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・普段着ている衣類がどんな成分か調べ、よく使われている繊維について名称を挙げることができる。 ・日常口にする食品について、その成分である栄養素という視点から分類することができる。	・指導事項 ①衣料と繊維 ②天然繊維 ③化学繊維 ④食品と栄養素 ⑤炭水化物 ⑥タンパク質 ⑦脂質とその他の栄養素 チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・衣料と食品について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 ・器具を正しく扱い、実験を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・衣料と食品について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣料と食品に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	9
	光や熱の科学 「熱の性質とその利用」 【知識及び技能】 ・温度、熱運動について理解する。 ・エネルギーの種類とその利用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身の回りのものから微粒子の運動について説明することができる。 ・エネルギーの変換の例をあげ、その際の問題点などを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱の性質とその利用について日常生活などに結びつけ意欲的に理解しようとしている。	・指導事項 ①温度と熱運動 ②熱容量・比熱 ③熱の伝わり方 ④仕事や電流と熱の発生 ⑤エネルギーの移り変わり ⑥熱エネルギーの利用 ⑦エネルギー資源の利用 チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・熱の性質とその利用について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 ・器具を正しく扱い、実験を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・熱の性質とその利用について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・熱の性質とその利用に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	10

3 学 期	宇宙や地球の科学 「太陽と地球」 【知識及び技能】 ・天体とその運動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・太陽放射エネルギーとその活用について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・天体に興味を持ち、その運動について意欲的に理解しようとしている。	・指導事項 ①太陽の構造と太陽放射 ②天体の運動 ③天体の運動と海洋 ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・太陽と地球について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・太陽と地球について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・太陽と地球に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	8
	八丈島に関連する科学 【知識及び技能】 ・八丈島に関連する科学について、植相や地層などを通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・八丈島の植相や地質学について、自らまとめて発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・八丈島について、自ら進んで学び意欲的に資料をまとめることができる。	・指導事項 ①八丈島の自然 ②八丈島の生物 ③八丈島に関する地学 ④八丈島の食文化 チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・八丈島に関する科学について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・八丈島に関する科学について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・八丈島に関する科学に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	6
							合計 52

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 理科 科目 生物基礎

教科 理科 科目 生物基礎

単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 1 組

教科担当者 荒井 岳大

使用教科書 (実教出版 高校生物基礎)

教科 理科 の目標

【知識及び技能】自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するための観察、実験等に関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につける。

科目 生物基礎 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生命現象についての観察、実験などを行うことを通して、それらの基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に研究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術が身に付いている。	生物や生物現象を対象に、探求の過程を通して問題を見出すための観察、情報の収集、データの分析・解釈、推論などの探求の方法が習得できている。	生物や生物現象に対して主体的にかかわり、それらに対する課題を設定し解決しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「生物の特徴」 【知識及び技能】 ・原核細胞と真核細胞について、細胞に含まれる細胞小器官の違いと共に理解する。 ・光学顕微鏡で観察する技能を習得する。 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・細胞におけるDNAの働きについて、理解し、説明することができる。 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を関連付けて考察し、それを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物の共通性を、実験や観察を通して見出し、理解しようとする。 ・生命活動に必要なエネルギーは呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。	・指導事項 ①生物の多様性と共通性 ②生物とエネルギー チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・生物の特徴について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 ・器具を正しく扱い、実験を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・生物の特徴について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の特徴に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	8
	「遺伝子とその働き」 【知識及び技能】 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解する。 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明できる。 ・mRNAとアミノ酸の対応関係について、遺伝暗号表から読み解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	・指導事項 ①遺伝情報とDNA ②遺伝情報とタンパク質合成 チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・遺伝子とその働きについて、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 ・器具を正しく扱い、実験を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・遺伝子とその働きについて、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝子とその働きに関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	8
2 学 期	「ヒトのからだの調節」 【知識及び技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解する。 ・臓器の働きを理解する。 ・ホルモンの働きについて理解している。 ・病原体などの異物を認識・排除するためのしくみを理解する。 ・免疫の医療への応用や人の免疫疾患について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・腎臓の働きや仕組みを説明することができる。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経の両方の働きから説明できる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・臓器の機能を理解し、人体についての理解を深めようとする。 ・免疫について、身近な現象と絡めて理解しようとする。	・指導事項 ①体内環境 ②体内環境の維持のしくみ ③免疫 チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・ヒトのからだの調節について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 ・器具を正しく扱い、実験を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・ヒトのからだの調節について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヒトのからだの調節に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	20

3 学 期	「生物の多様性と生態系」 【知識及び技能】 ・植物を取り巻く環境や厚生種により、植生が変わっていくことを理解する。 ・地球上には様々なバイオームが成立していることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどう進むか説明できる。 ・バイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応するためであると考察し、それを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・植生が変化する要因を見出し、その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。	・指導事項 ①生態系とその成り立ち ②植生とバイオーム チェックテスト ・教材 教科書 プリント タブレット	【知識・技能】 ・生態系について、しっかり理解し適切に知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・生態系について、しっかり理解し考え説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生態系に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	12	合計
								48

八丈高等学校定時制課程 令和6年度 教科 理科 科目 化学基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2単位

対象学年組：第4学年 1組

教科担当者：荒井 岳大

使用教科書：（東京書籍 新編 化学基礎）

使用教材：（教科書、プリント、タブレット）

	指導内容	科目化学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素 1節 物質の成分 2節 物質の構成元素	純物質と混合物とその分離方法について理解させる。 物質の成分である元素と、単体と化合物について理解させる。 炎色反応の演示実験や塩素の検出の演示実験など元素の確認方法と検出方法について理解させる。	【知識・技能】 チェックテスト 実験操作 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	4
5月	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素 3節 物質の三態 2章 原子の構造と元素の周期表 1節 原子の構造 2節 電子配置と周期表(1)	物質の三態と状態間の変化と熱運動の温度について理解させる。 単元別考査を用いて物質の分類、元素について理解できているか確認する。 原子の構造について理解させる。 電子配置と周期表の関係を理解させる。 これまでの授業について振り返りシートを活用して授業の理解度、意欲等を確認し、改善を促す。		6
6月	1編 物質の構成 2章 原子の構造と元素の周期表 まとめ 1編 物質の構成 3章 化学結合 1節 イオンとイオン結合 2節 分子と共有結合 3節 金属と金属結合	原子の構造、電子配置と周期表の関係を理解させる。 イオンの形成・イオンの分類について理解させ、イオン結合について考えさせる。 共有結合が電子の共有によって起こることであることを理解させ、実験を通して極性について理解させる。 電気陰性度について理解させる。 身近な金属を紹介し、金属について関心を高める。		7
7月	1編 物質の構成 3章 化学結合 4節 化学結合と物質の分類	化学結合についてまとめ、それぞれの特徴を理解させる。 単元別考査を実施し、内容を理解できているかを考えさせる。 これまでの授業について振り返りシートを活用して授業の理解度、意欲等を確認し、改善を促す。		3
8月				
9月	2編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式 2節 物質量	物質量の概念を理解する。 モル質量・モル体積について理解する。	【知識・技能】 チェックテスト 実験操作 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	4
10月	2編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式 2節 物質量 3節 溶液の濃度 4節 化学反応式とその量的関係	物質量に関する計算をする。 化学で扱う濃度について理解する。 化学反応式のつくり方を理解する。 これまでの授業について振り返りシートを活用して授業の理解度、意欲等を確認し、改善を促す。 化学反応式と量的関係を理解する		6
11月	2編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式 4節 化学反応式とその量的関係 2章 酸と塩基 1節 酸と塩基 2節 水素イオン濃度とpH	化学反応式と量的関係を理解する。 実験から、化学反応式と量的関係を考えさせる。 酸と塩基の性質について理解する。 アレニウスの定義について理解する。 水の電離、イオン積について理解する。		6
12月	2編 物質の変化 2章 酸と塩基 3節 中和反応と塩	中和反応について理解する。 塩について実験を通して理解する。 これまでの授業について振り返りシートを活用して授業の理解度、意欲等を確認し、改善を促す。		5
1月	2編 物質の変化 3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元 3節 金属の酸化還元反応	酸化と還元反応について理解する。 金属の酸化還元反応について理解する。 単元別考査を実施し、内容を理解できているか確認する。 これまでの授業について振り返りシートを活用して授業の理解度、意欲等を確認し、改善を促す。	【知識・技能】 チェックテスト 実験操作 【思考・判断・表現】 プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・提出物 プリント 振り返りシート	4

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：佐藤 美波

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育

）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的指導目標	指導事項・内容	評価基準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：体づくり運動・体育理論 【知識及び技能】 心身の状態に気づき、計画を立てる重要性を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康、安全を確保しながら互いに助け合い高めようとしている。	<体づくり運動> ・体ほぐし運動 ・体の動きを高める運動 ・筋力を高める運動 ・調整力を高める運動 <体育理論> ・スポーツの発祥と発展	【知識及び技能】 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康や体力の保持増進につながることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	10
	単元：陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 陸上競技の特性を踏まえて、動きなどの改善についてポイントを発見し、他者に分かりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康、安全を確保しながら互いに助け合い高めようとしている。	<短距離走> ・50m走 ・クラウチングスタートから力強く加速する ・力まずリズムカルに走る ・高いスピードを維持して走る ・体の真下に接地し、脚をすばやく前に運ぶ ・加速走 ・ウェーブ走	【知識及び技能】 合理的なフォームを身に付けたり、技術と連携させた補助運動や部分練習を取り入れ、継続して行うことで、結果として体力を高めることができることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	8
	単元：球技（ゴール型） 【知識及び技能】 サッカーについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 攻防などの自己のチームや課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にし、作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	<サッカー> ・ねらった方向へのパス（インサイドパス、インステップキック） ・ボールをコントロールするドリブル ・ボールをコントロールするトラッピング ・動きながらのパス&キック ・ドリブルでボールをキープする ・積極的にシュートする ・複数人での攻防 ・数的に優位な状況をつくって攻める	【知識及び技能】 サッカーの技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 サッカーの課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 サッカーの学習に主体的に取り組もうとする。互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	11
	単元：水泳 【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 水泳などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて水泳の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切にし、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。	<水泳> ・安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ） ・回転動作を覚える ・壁との距離を合わせる ・安全なスタートや確実なターンができるようにする	【知識及び技能】 クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライなど、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 【思考力・判断力・表現力】 選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳の学習に主体的に取り組もうとする。互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	4
2 学 期	単元：球技（ネット型） 【知識及び技能】 バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 攻防などの自己のチームや課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にし、作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	<バレーボール> ・正確にうつアダーハンドサーブ ・セッターに返球するパス ・プレイの連携をサポートする声を出す ・状況に応じたアタック ・ポジションに応じた位置に異動して構える ・攻撃ボールに応じたレシーブ ・サーブに対応した守備システムをつくる	【知識及び技能】 バレーボールの技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 バレーボールの課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールの学習に主体的に取り組もうとする。互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	12
	単元：体づくり運動・体育理論 【知識及び技能】 心身の状態に気づき、計画を立てる重要性を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康、安全を確保しながら互いに助け合い高めようとしている。	<体づくり運動> ・体ほぐし運動 ・柔軟性を高める運動 ・筋力を高める運動 ・調整力を高める運動 <体育理論> ・運動・スポーツの学び方	【知識及び技能】 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康や体力の保持増進につながることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	10

	単元：器械運動 【知識及び技能】 技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康、安全を確保しながら互いに助け合い高めようとしている。	<マット運動> - 基本の動きを確認する (前転、後転、頭倒立、開脚前転、伸膝前転) - 着手で全身を支えたり、突き放したりする - 回転力を高めて起き上がる	【知識及び技能】 自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察と他者観察などの方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	10
	単元：球技（ネット型） 【知識及び技能】 バドミントンについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 攻防などの自己のチームや課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にし、作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	<バドミントン> - 基本の動きを確認する (ロングハイサービス、ショートサービス) - 相手エンドの空いているところをねらう - 横にあるシャトルを打ち返すストローク - いろいろな球種を用いてラリーを組み立てる - ネット近くのシャトルを押し込むストローク	【知識及び技能】 バドミントンの技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 バドミントンの課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンの学習に主体的に取り組もうとする。互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	10
3 学 期	単元：球技（ゴール型） 【知識及び技能】 バスケットボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 攻防などの自己のチームや課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にし、作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	<バスケットボール> - 基本の動きを確認する - ボールを受けるための動き - フェイクを使った1対1の攻め - ドリブルを使って攻める - リバウンドから外側で待っている味方へのパス - ゾーンの攻防	【知識及び技能】 バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 バスケットボールの課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールの学習に主体的に取り組もうとする。互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	8
	単元：体づくり運動・体育理論 【知識及び技能】 心身の状態に気づき、計画を立てる重要性を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康、安全を確保しながら互いに助け合い高めようとしている。	<体づくり運動> - 体ほぐし運動 - 体の動きを高める運動 - 持久力を高める運動 - 調整力を高める運動 <体育理論> - 運動・スポーツの学び方	【知識及び技能】 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康や体力の保持増進につながることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	5
	単元：武道 【知識及び技能】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康、安全を確保しながら互いに助け合い高めようとしている。	<柔道> - 礼法を身に付ける - 基本の動きを確認する - 受け身を身に付ける - 基本となる投げ技を用いて攻める	【知識及び技能】 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	4
							合計
							92

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：佐藤 美波

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「健康の考え方」 【知識及び技能】 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることを理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けて自他や社会の課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営む態度を養う。	「健康の考え方」 - 健康の考え方と成り立ち - 私たちの健康のすがた	【知識及び技能】 個人の行動と社会の活動が私たちの健康とどう関わっているか理解している。 【思考力、判断力、表現力】 自己や家族の生活習慣の問題点に気づき、改善しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 「健康の考え方」における健康の捉え方について理解し健康問題について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元「生活習慣病などの予防と回復」 【知識及び技能】 生活習慣病のリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養および睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続ける必要があることを理解し個人の対策を考える。 【思考力・判断力・表現力】 生活習慣病などの予防と回復について分析し、個人の取組や社会の課題を整理すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営む態度を養う。	「生活習慣病などの予防と回復」 - 生活習慣病の予防と回復 - がんの原因と予防 - がんの治療と回復 - 運動と健康 - 食事と健康 - 休養・睡眠と健康	【知識及び技能】 生活習慣病などのリスクを経験し予防するには、適切な食事、休養及び睡眠など調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基にリスクの軽減と生活の質の向上に必要な対策を整理している。 【学びに向かう力、人間性等】 「生活習慣病などの予防と回復」における健康の捉え方について理解し健康問題について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 学 期	単元「喫煙・飲酒・薬物乱用と健康」 【知識及び技能】 飲酒や喫煙は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営む態度を養う。	「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」 - 喫煙と健康 - 飲酒と健康 - 薬物乱用と健康	【知識及び技能】 喫煙による健康問題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、および法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」における健康の捉え方について理解し健康問題について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元「精神疾患の予防と回復」 【知識及び技能】 精神疾患の予防と回復には調和のとれた生活を実践すること、早期の不調に気づくこと、休むくし運動などのリラクセーションの方法でストレスを緩和することが重要であることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営む態度を養う。	「精神疾患の予防と回復」 - 精神疾患の特徴 - 精神疾患の予防 - 精神疾患からの回復	【知識及び技能】 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となることを捉える。うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などの精神疾患は、誰もが罹患しうることを理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。精神疾患を予防する方法について説明できる。 精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 「精神疾患の予防と回復」における健康の捉え方について理解し健康問題について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	7

3 学期	単元「現代の感染症とその予防」 【知識及び技能】 時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いがみられることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 性感染症・エイズの予防には、個人の行動選択や社会の対策が重要であることを捉え対策を整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指す。	「現代の感染症とその予防」 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	【知識及び技能】 感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 【思考力・判断力・表現力】 性感染症・エイズの予防には、個人の行動選択や社会の対策が重要であることを捉え対策を整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 「現代の感染症とその予防」における健康の捉え方について理解し健康問題について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
							合計 35

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 保健体育 科目 体育

教 科：保健体育 科 目：体育

单位数： 3 单位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者： 富永 一哉

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・内容	評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：体づくり運動・体育理論 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・自重トレーニング ・ストレッチ ・スポーツの発祥と展開	【知】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 体の変化に気づき、目標設定を刷新することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 協力・責任・参画、安全などに意識を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	10
	単元：陸上競技 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・短距離走 ・50m走	【知】 必要な体力要素があり、技術の名称や動きの原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 自己の目標を達成するための練習を計画することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平、協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	9
	単元：球技 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・サッカー	【知】 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことが出来る。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト 【思】 規則や審判法の知識がある。目標設定を刷新することができる。 ※審判・チームミーティング・振り返り記録 【学】 公正・公平、協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	7
	単元：水泳 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・競泳	【知】 必要な体力要素があり、技術の名称や動きの原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 自己の目標を達成するための練習を計画することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平、協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	3
2 学 期	単元：球技 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・バレーボール	【知】 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことが出来る。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト 【思】 規則や審判法の知識がある。目標設定を刷新することができる。 ※審判・チームミーティング・振り返り記録 【学】 公正・公平、協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	11
	単元：体づくり運動・体育理論 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・ストレッチ ・ウエイトトレーニング ・効果的な運動のメカニズム	【知】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 体の変化に気づき、目標設定を刷新することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 協力・責任・参画、安全などに意識を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	11
	単元：器械運動 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・マット運動	【知】 技の名称と合理的な動き方のポイント、系統ごとの共通性を理解することができる。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 新しい方法や組み合わせを理解し、ポイントなどを伝えられる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平、協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	8
3 学 期	単元：球技 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・バドミントン	【知】 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことが出来る。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト 【思】 規則や審判法の知識がある。目標設定を刷新することができる。 ※審判・振り返り記録 【学】 公正・公平、協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	6
	単元：球技 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・バスケットボール	【知】 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことが出来る。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト 【思】 規則や審判法の知識がある。目標設定を刷新することができる。 ※審判・チームミーティング・振り返り記録 【学】 公正・公平、協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	8
	単元：体づくり運動・体育理論 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・サーキットトレーニング ・体カトレーニング	【知】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 体の変化に気づき、目標設定を刷新することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 協力・責任・参画、安全などに意識を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	5
	単元：武道 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	・柔道	【知】 武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称、受け身を理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 練習の成果や改善ポイントから有効な練習を選択するなど、計画立案ができた。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平、協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	2
							合計
							80

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 保健体育 科目 保健

单位数： 1 单位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者： 富永 一哉

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに技能を身につけるようにする。	健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・内容	評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：生涯を通じる健康 【知】単元の学習内容や必要性の理解。 【思】自分の健康の課題発見と適切な目標立案。 【学】主体的取組みと健康の維持増進意識の涵養。	ライフステージと健康	【知】生涯の各段階における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。※発言・提出物・効果測定	○	○	○	1
		思春期と健康 性意識と性行動の選択	【思】生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。※発表・学習カード・振り返り記録・面談	○	○	○	3
		妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	【学】生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。※出席率・参加態度	○	○	○	3
		中高年期と健康					1
2 学 期	単元：健康を支える環境づくり 【知】単元の学習内容や必要性の理解。 【思】自分の健康の課題発見と適切な目標立案。 【学】主体的取組みと健康の維持増進意識の涵養。	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	【知】人間の生活や産業活動は、自然環境汚染を引き起こし、健康に影響や被害をもたらすこと。また、その対策の必要性について理解したことを言ったり書いたりしている。※発言・提出物・効果測定	○	○	○	3
		大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備	【思】環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。※発表・学習カード・振り返り記録・面談	○	○	○	4
		食品の安全性 食品衛生にかかわる活動	【学】環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。※出席率・参加態度	○	○	○	3
		保健サービスとその活用					2
3 学 期	単元：健康を支える環境づくり 【知】単元の学習内容の意義や必要性の理解。 【思】安全に対する課題発見と適切な目標立案。 【学】主体的取組みと安全確保意識。	医療サービスとその活用 医療品の制度とその活用	【知】健康を支えるための保健・医療制度が存在し、提供されていることや、健康的な環境づくりに積極的に参加することの重要性について、理解したことを言ったり書いたりしている。・提出物・効果測定	○	○	○	4
		さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	【思】保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。発表・学習カード・振り返り記録・面談	○	○	○	2
		健康に関する環境づくりと社会参加	【学】健康を支える環境づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。※出席率・参加態度				2
							合計 28

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 保健体育 科目 体育

教科 保健体育 科目 体育

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：佐藤 美波

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育

）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的指導目標	指導事項・内容	評価基準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：球技（ゴール型） 【知識及び技能】 サッカーについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 攻防などの自己のチームや課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にし、作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	〈サッカー〉 ・ねらった方向へのパス（インサイドパス、インステップキック） ・ボールをコントロールするドリブル ・ボールをコントロールするトラッピング ・動きながらのパス&キック ・ドリブルでボールをキープする ・積極的にシュートする ・複数人での攻防 ・数的に優位な状況をつくって攻める	【知識及び技能】 サッカーの技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 サッカーの課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 サッカーの学習に主体的に取り組もうとする。互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	11
	単元：器械運動 【知識及び技能】 技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康、安全を確保しながら互いに助け合い高めようとしている。	〈トランポリン〉 技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	【知識及び技能】 自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察と他者観察などの方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	9
	単元：水泳 【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 水泳などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて水泳の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切にし、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。	〈水泳〉 ・安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ） ・回転動作を覚える ・壁との距離を合わせる ・安全なスタートや確実なターンができるようにする	【知識及び技能】 クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライなど、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 【思考力・判断力・表現力】 選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳の学習に主体的に取り組もうとする。互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	4
2 学 期	単元：球技（ネット型） 【知識及び技能】 バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 攻防などの自己のチームや課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にし、作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	〈バレーボール〉 ・正確にうつアタックサーブ ・セッターに返球するパス ・プレイの連携をサポートする声を出す ・状況に応じたアタック ・ポジションに応じた位置に異動して構える ・攻撃ボールに応じたレシーブ ・サーブに対応した守備システムをつくる	【知識及び技能】 バレーボールの技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 バレーボールの課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールの学習に主体的に取り組もうとする。互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	12
	単元：器械運動 【知識及び技能】 技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康、安全を確保しながら互いに助け合い高めようとしている。	〈走り幅跳び〉 ・スピードにのった助走から力強く踏み切る ・助走から着地までスピードにのって跳ぶ ・腕と肩をタイミングよく引き上げる ・大きな空中動作で跳ぶ 〈走り高跳び〉 ・リズムカルに助走する ・助走スピードを生かして高く跳ぶ ・背面跳びで跳ぶ	【知識及び技能】 自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察と他者観察などの方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	10
	単元：球技（ゴール型） 【知識及び技能】 バasketボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 攻防などの自己のチームや課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にし、作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。	〈バasketボール〉 ・基本の動きを確認する ・ボールを受けるための動き ・フェイクを使った1対1の攻め ・ドリブルを使って攻める ・リバウンドから外側で待っている味方へのパス ・ゾーンの攻防	【知識及び技能】 バasketボールの技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 バasketボールの課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 バasketボールの学習に主体的に取り組もうとする。互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	○	○	○	8

単元：陸上競技 【知識及び技能】 心身の状態に気づき、計画を立てる重要性を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 健康、安全を確保しながら互いに助け合い高めようとしている。	<長距離走> ・目標タイムに応じたペースで走る ・力みのないリズムカルなフォームで走る ・ペースの変化に対応して走る ・追い抜き走 ・ピッチ走法&ストライド走法	【知識及び技能】 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康や体力の保持増進につながることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い、教え合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。				6
合計						
60						

八丈 高等学校校定時制課程 令和6年度 教科 保健体育 科目 スポーツA

教 科： 保健体育 科 目： スポーツA 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者： 佐藤 美波

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツA の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的、合理的、計画的な実践を通して、楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性について理解するとともに、球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指す。	専門的でより深い学習内容の中で、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたってスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

	単元の具体的指導目標 (3観点)	指導事項・内容	評価基準 (3観点)	知	思	態	配当時数
1 学期	単元：球技 （ネット型 ラケット種目） 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	オリエンテーション 競技特性の理解 学習カード タブレット	【知】 スポーツAを受講する意義、運動の特性と構造、運動の原則などを理解している。 【思】 目指す目標に応じた自己の課題を設定している。課題に気づき、目標設定を刷新することができる。 【学】 協力・責任・参画・安全などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	1
		ラケット操作 ・面づくり ラケット・ボール	【知】 必要な体力要素があり、技術の名称や動きの原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 自己の目標を達成するための練習を計画することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度		○	○	2
		ラケット操作 ・各種打法 ラケット・ボール	【知】 必要な体力要素があり、技術の名称や動きの原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 自己の目標を達成するための練習を計画することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度		○	○	6
		ラケット操作 ・サービスの基礎 ・サービスの安定性向上 ラケット・ボール	【知】 必要な体力要素があり、技術の名称や動きの原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 自己の目標を達成するための練習を計画することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度		○	○	8
		1学期の振り返りと効果測定 タブレット	【知】 必要な技術要素があり、技術の名称や動きの原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 自己の目標を達成するための練習を計画することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	1
2 学期	単元：球技（ネット型 ラケット種目） 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	相手の打球に備えた準備姿勢の指導 ・レシーブ準備の姿勢 ラケット・ボール	【知】 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことが出来る。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト 【思】 規則や審判法の知識がある、目標設定を刷新することができる。 ※審判・振り返り記録 【学】 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度		○	○	7
		相手の打球に備えた準備姿勢の指導 ・定位置への戻り ラケット・ボール	【知】 スポーツを継続する意義、運動の原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 技術の変化に気づき、目標設定を刷新することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 協力・責任・参画・安全などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度		○	○	7
		相手の打球に備えた準備姿勢の指導 ・レシーブ後のボールや相手への正対 ラケット・ボール	【知】 技の名称と合理的な動き方のポイント、系統ごとの共通性を理解することができる。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 正しい方法や組み合わせを理解し、ポイントなどを伝えられる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度		○	○	5
		2学期の振り返りと効果測定 タブレット	【知】 必要な技術要素があり、技術の名称や動きの原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】 自己の目標を達成するための練習を計画することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	1
3	単元：球技（ネット型 ラケット種目） 【知】 活動の意義・必要性の理解。 【思】 自分の体力の課題発見と適切な目標立案。 【学】 主体的取組みと安全確保意識。	ゲームの運営 ・シングルスゲーム ラケット・ボール 記録用紙	【知】 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことが出来る。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト 【思】 規則や審判法の知識がある、目標設定を刷新することができる。 ※審判・振り返り記録 【学】 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度		○	○	4
		ゲームの運営 ・ダブルスゲーム ラケット・ボール 記録用紙	【知】 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことが出来る。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト 【思】 規則や審判法の知識がある、目標設定を刷新することができる。 ※審判・振り返り記録 【学】 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度		○	○	5

学期		ゲームの運営 ・大会運営 ラケット・ボール 記録用紙	【知】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】技術の変化に気づき、目標設定を刷新することができる。 ※学習カード・振り返り記録 【学】協力・責任・参画・安全などに意識を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	4
		3学期の振り返りと効果測定 タブレット	【知】競技会の仕方や審判の方法について、学習した具体例を挙げている。 ※実技テスト・筆記テスト 【思】練習の成果や改善ポイントから有効な練習を選択するなど、計画立案ができた。 ※学習カード・振り返り記録 【学】公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度	○	○	○	1
							合計 52

八丈高等学校定時制課程 令和6年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2/4単位
対象学年組： 第4学年1組

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）
使用教材：（ なし ）

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
4月	運動能力調査・器械運動・体育理論（・選択球技）	授業参加の心得、競技の特性の理解 サッカー・トランポリン・運動の意味 （選択・テニス、バドミントン）	技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	4/7
5月	運動能力調査・集団球技・器械運動（・選択球技）	主体的に取り組み、互いに協力し合う。 体力テスト準備・サッカー・トランポリン（・同上）	技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	6/14
6月	体力テスト・集団球技・器械運動・水泳（・選択球技）	主体的に取り組み、互いに協力し合う。 体力テスト準備・サッカー・トランポリン（・同上）	技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	7/13
7月	集団球技・器械運動・水泳（・選択球技）学期振り返り	主体的に取り組み、互いに協力し合う。 サッカー・トランポリン・水泳（・同上）学期振り返り	技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	3/5
8月				
9月	集団球技・陸上競技・体育理論（・選択球技）	自分の能力にあった取り組みを考え実施する。 バレーボール・跳躍競技・スポーツ文化（・同上）	技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	3/7
10月	集団球技・陸上競技（・選択球技）	バレーボール・跳躍競技（・同上）	技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	6/13
11月	集団球技・陸上競技（・選択球技）	バレーボール・跳躍競技（・同上）	技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	6/14
12月	集団球技・陸上競技（・選択球技）学期振り返り	バレーボール・跳躍競技（・同上）学期振り返り	技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	5/9
1月	集団球技・個人球技（・選択球技）学年振り返り	習得した技術を互いの教え合う バスケットボール・バドミントン・学年振り返り	技能テスト、授業への取り組み姿勢や練習・試合の成果を総合的に評価する。	4/11

科目 英語コミュニケーションⅠ

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 数研出版 COMET 1

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】英語、日本語に語学的関心を持ち、自己表現するとともに文化的違いを理解する意欲を高めることとする。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人称代名詞と日常生活に必要な基本的動詞を覚え英語の語順、修飾方法について基礎的な知識と使い方を身に付けたか。	日常生活に不可欠な一般動詞を瞬時に言えて書くことができる。日常的な話題について簡潔な英語で発話表現する力を伸ばそうとしたか。	英語、日本語の構造に違いに関心を持ち、自己表現するとともに構造の違いを理解する意欲を高めようとしたか。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

都立八丈高等学校定時制課程 令和6年度 教科英語科目コミュニケーション英語Ⅱ 年間授業計画

教科 科：英語 科 目： コミュニケーション英語Ⅱ 単位数： 2単位
対象学年組： 第4学年1組
教科担当者： 石橋 泰二
使用教科書：（ 数研出版 COMETⅡ ）
使用教材：（ 教科書 ）

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	06 The High School Hair Salon 教育・職業 高校生が運営する美容室で働く生徒たちへのインタビュー 助動詞+have+過去分詞 07 You Can Make a Difference 環境・生活・社会 バリ島に住むメラティとイザベルの姉妹によるレジ袋撤廃運動 過去完了形（経験・完了・継続・大過去）	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（バリのレジ袋撤廃運動）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。”	a. 過去完了形に関する事項を理解している。 b. 過去完了形の用法に関する理解をもとに、バリ島が抱えるプラスチックゴミの問題やメラティとイザベル姉妹によるBye Bye Plastic Bags計画について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 c. 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	4
5月	06 The High School Hair Salon 教育・職業 高校生が運営する美容室で働く生徒たちへのインタビュー 助動詞+have+過去分詞 07 You Can Make a Difference 環境・生活・社会 バリ島に住むメラティとイザベルの姉妹によるレジ袋撤廃運動 過去完了形（経験・完了・継続・大過去）	”a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（バリのレジ袋撤廃運動）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。”	本文の内容に関連して、自分の住んでいる町／環境に優しい製品／環境保護のボランティア計画など学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。”	5
6月	08 Nudge 心理・生活 命令や強制ではなく、小さな工夫で人の行動に影響を与える「ナッジ」の活用例を紹介 関係代名詞what 09 The Father of Braille Blocks【SDGs 3, 11】 福祉・人物 世界中で使われる点字ブロックの開発者、三宅精一氏 関係副詞（where / when）	”a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（ナッジ）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。”	a. 関係代名詞whatに関する事項を理解している。 b. 関係代名詞whatの用法に関する理解をもとに、ナッジについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 c. ナッジの効果や公共の場の掲示などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。	5
7月	08 Nudge 心理・生活 命令や強制ではなく、小さな工夫で人の行動に影響を与える「ナッジ」の活用例を紹介 関係代名詞what 09 The Father of Braille Blocks【SDGs 3, 11】 福祉・人物 世界中で使われる点字ブロックの開発者、三宅精一氏 関係副詞（where / when）	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（ナッジ）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。”	a. ナッジについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 本文の内容に関連して、ナッジの効果や公共の場の掲示などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。 ”a. ナッジについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	4

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				
9 月	Activity 03 At a Fast-food Restaurant ーファーストフード店で注文する 読む活動・聞く活動・話す活動 08 Nudge 心理・生活 命令や強制ではなく、小さな工夫で人の行動に影響を与える「ナッジ」の活用例を紹介 関係代名詞what 09 The Father of Braille Blocks【SDGs 3, 11】 福祉・人物 世界中で使われる点字ブロックの開発者、三宅精一氏 関係副詞 (where / when)	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（点字ブロックの開発者）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。”	a. 関係副詞に関する事項を理解している。 b. 関係副詞の用法に関する理解をもとに、点字ブロックの開発や普及の経緯について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 c. 点字ブロック／よいアイデアを思いつくこと／寄付をすることなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。	3
10 月	Activity 03 At a Fast-food Restaurant ーファーストフード店で注文する 読む活動・聞く活動・話す活動 08 Nudge 心理・生活 命令や強制ではなく、小さな工夫で人の行動に影響を与える「ナッジ」の活用例を紹介 関係代名詞what 09 The Father of Braille Blocks【SDGs 3, 11】 福祉・人物 世界中で使われる点字ブロックの開発者、三宅精一氏 関係副詞 (where / when)	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（点字ブロックの開発者）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。”	a. 点字ブロックの開発者について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 本文の内容に関連して、点字ブロック／よいアイデアを思いつくこと／寄付をすることなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。”	5
11 月	社会・異文化理解 海外の人から見ると奇妙にも見える日本のサービスについて、留学生が議論する 使役動詞 (make / let / have) Activity 04 Express Your Own Opinion! ーコンビニエンスストアの24時間営業について、自分の意見を書いて発表する 読む活動・書く活動・話す活動	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（日本のサービスに対する留学生の考え）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。”	a. 使役動詞に関する事項を理解している。 b. 使役動詞の用法に関する理解をもとに、日本のサービスに対する留学生の考えについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 c. 過剰包装／自動販売機／駅のアナウンスの必要性などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。”	5

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	社会・異文化理解 海外の人から見ると奇妙にも見える日本のサービスについて、留学生が議論する 使役動詞 (make / let / have) Activity 04 Express Your Own Opinion! ー コンビニエンスストアの24時間営業について、自分の意見を書いて発表する 読む活動・書く活動・話す活動	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容 (日本のサービスに対する留学生の考え) について、学習した語彙や言語材料 (文法事項) を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。”	a. 日本のサービスに対する留学生の考えについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 本文の内容に関連して、過剰包装／自動販売機／駅のアナウンスの必要性などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。”	4
1月	Activity 04 Express Your Own Opinion! ー コンビニエンスストアの24時間営業について、自分の意見を書いて発表する 読む活動・書く活動・話す活動 ー 11 The Vancouver Asahi 【SDGs 8, 10, 16】 人権・平和 太平洋戦争以前のカナダで活躍した日系カナダ人の野球チーム、バンクーバー朝日の実話 知覚動詞+0+動詞の原形 / ~ing	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容 (日系カナダ人の野球チーム バンクーバー朝日) について、学習した語彙や言語材料 (文法事項) を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。”	a. 知覚動詞+0+動詞の原形／～ingに関する事項を理解している。 b. 知覚動詞+0+動詞の原形／～ingの用法に関する理解をもとに、日系カナダ人の暮らしやバンクーバー朝日の結成～消滅について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 c. 海外に住むこと／好きなスポーツチーム／日系カナダ人と太平洋戦争などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。	3

都立八丈高等学校定時制課程 令和6年度 教科英語 科目英会話 年間授業計画

教科：英語 科目：英会話 単位数：2単位
対象学年組：第4学年
教科担当者：石橋 泰二
使用教科書：（文英堂 My Passport English Conversation）
使用教材：（教科書）

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	- 初めて会う人と自己紹介をし合う。 - 機能表現[紹介][職業質問]を習得し、会話する。 - トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。 - 家の中を案内する場面で会話する。	日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、現在の様子等を簡潔に英語で紹介する。言語に対し知的関心を持つ。ALTとの会話を楽しむ。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 イ 外国語表現の能力 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。 ウ 外国語理解の能力 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。 エ 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	4
5月	- 家族の紹介をする。 - 名前について、会話をする。 - ホテルでチェックインをする。 - 機能表現[依頼][時間質問]を習得し、会話する。 - トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。 - ホテルで希望を伝える。	日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、現在の様子等を簡潔に英語で紹介する。言語に対し知的関心を持つ。ALTとの会話を楽しむ。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 イ 外国語表現の能力 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。 ウ 外国語理解の能力 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。 エ 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	4
6月	- ボディーランゲージ（ジェスチャー）を表現する。 - とっさに出る言葉を表現する。 - 機能表現[依頼][時間質問]を習得し、会話する。 - トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。 - ホテルで希望を伝える。	日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、現在の様子等を簡潔に英語で紹介する。言語に対し知的関心を持つ。ALTとの会話を楽しむ。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 イ 外国語表現の能力 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。 ウ 外国語理解の能力 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。 エ 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	6

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	- 観光案内所で道を尋ねる. - 機能表現[行先質問][所要時間]を習得し、会話する. - トピック関連のリスニング問題を聞き理解する. - 観光ツアーの予約をする. - 数字、序数を使い分ける. 月、曜日、時間を表現する.	日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、現在の様子等を簡潔に英語で紹介する。言語に対し知的関心を持つ。ALTとの会話を楽しむ。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 イ 外国語表現の能力 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。 ウ 外国語理解の能力 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。 エ 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	4
8月				
9月	- 郵便局で切手を買う. - 機能表現[希望伝達][提案]を習得し、会話する. - トピック関連のリスニング問題を聞き理解する. - トラベラーズチェックを両替する. - さまざまな電話表現を理解する. - 電話による会話をする.	日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、現在の様子等を簡潔に英語で紹介する。言語に対し知的関心を持つ。ALTとの会話を楽しむ。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 イ 外国語表現の能力 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。 ウ 外国語理解の能力 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。 エ 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	4
10月	- ファーストフード店で注文をする. - 機能表現[注文][料金質問]を習得し、会話する. - トピック関連のリスニング問題を聞き理解する. - レストランの予約をする. - 英文の手紙を書く. - 英文のEメールを書く.	日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、現在の様子等を簡潔に英語で紹介する。言語に対し知的関心を持つ。ALTとの会話を楽しむ。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 イ 外国語表現の能力 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。 ウ 外国語理解の能力 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。 エ 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	6

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	・ 買い物をする。 ・ 機能表現[サイズ・質問][試着許可]を習得し、会話する。 ・ トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。 ・ おみやげを探す。 ・ 日本の制服について表現する。 ・ 学校行事を伝える。	日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、現在の様子等を簡潔に英語で紹介する。言語に対し知的関心を持つ。ALTとの会話を楽しむ。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 イ 外国語表現の能力 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。 ウ 外国語理解の能力 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。 エ 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	6
12 月	・ 地下鉄構内で行き方をたずねる。 ・ 機能表現[場所質問][忠告]を習得し、会話する。 ・ トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。 ・ 遠距離切符を買う。 ・ 日本の習慣について語る。 ・ カタカナ語と英語を区別する。	日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、現在の様子等を簡潔に英語で紹介する。言語に対し知的関心を持つ。ALTとの会話を楽しむ。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 イ 外国語表現の能力 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。 ウ 外国語理解の能力 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。 エ 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	4
1 月	・ 病院で診察を受ける。 ・ 機能表現[様子伺い][言いかえ]を習得し、会話する。 ・ トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。 ・ 薬局で薬を買う。 ・ 日本の伝統文化を確認する。 ・ 日本のポップカルチャーを確認する。	日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、現在の様子等を簡潔に英語で紹介する。言語に対し知的関心を持つ。ALTとの会話を楽しむ。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 イ 外国語表現の能力 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。 ウ 外国語理解の能力 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。 エ 言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	4

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者： 奥山 惠美

使用教科書：（東京書籍）書道Ⅰ

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
書の内容の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書の様さや美しさや感動、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を工夫し、書の意味を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の内容及び活動に関わり、生涯にわたって書を受ける心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して人豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	記 当 時 数	
			漢	仮	漢							
1 学 期	漢字の書（楷書） 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴を理解しながら、楷書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中学までの復習をするとともに、高校書道との違いを理解させる。書道の学習に必要な用具・用材の特質と扱い方を学び、用途に応じて使用および丁寧な扱いができるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・楷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	・漢字の書（楷書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導				各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形・全体の構成について構想し工夫している。 主的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。		○	○		5	
	漢字の書（行書） 【知識及び技能】 ・行書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書体の筆遣いと楷書体の筆遣いを比較させ、違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典作品や他生徒作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（行書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導			○	○	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形・全体の構成について構想し工夫している。 主的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。		○	○		○
2 学 期	仮名の書 【知識及び技能】 仮名の成り立ちを学び、仮名と漢字の筆遣いを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆の臨書の学習を通じて、仮名の筆遣いの理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	仮名の書の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導				各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形・全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形・全体の構成について構想し工夫している。 主的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。		○	○		6	
	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や意図に基づいた表現力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢字仮名交じりの書や他生徒の作品鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字仮名交じりの書の創作・他生徒作品の鑑賞・意見交換 現代の書の鑑賞をさせ、創作の表現方法の効果について解説			○	○	創作作品、ワークシート、授業態度 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質、余白による表現の工夫をしている。 目的や用途に即した表現形式、題材の解釈に基いた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。		○	○	○	5
3 学 期	漢字の書（草書・隷書） 【知識及び技能】 ・草・隷書体の古典作品を臨書し、各書体ごとの特徴を理解させ、技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 草・隷書体の基本運筆を練習させ、楷書体、行書体との違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・草・隷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（草書・隷書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導			○	○	・各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 草・篆書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形・全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形・全体の構成について構想し工夫している。 主的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。		○	○		4
	硬筆 【知識及び技能】 日常の書（はがき、手紙）の書き方を学習し、硬筆の技能を身に付けさせる。 ・著作権について学習し、引用する場合の方法や注意点を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会における書の効用について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常に生かそうと意欲的に取り組む姿勢を育むとともに、自己の表現力にもつなげる。	はがき、手紙 ・漢字の書き順についての指導 ・ワークシート プリントによる解説 授業中での添削			○		ワークシート、授業態度 書式による書き方の違いや毛筆と硬筆での表現方法の違いを理解している。 著作権について理解している。 硬筆技術の向上に向けて主体的に学習に取り組もうとしている。		○	○	○	5 合計 30

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科：芸術

科目：書道Ⅰ

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：奥山 恵美

使用教科書：（東京書籍 書道Ⅰ

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能をより一層身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢 仮						
1 学 期	漢字の書（楷書） 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴を理解しながら、楷書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中学までの復習をするとともに、高校書道との違いを理解させる。書道の学習に必要な用具・用材の特徴と扱い方を学び、用途に応じて使用および丁寧な扱いができるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・楷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	・漢字の書（楷書）の臨書・鑑賞プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導			○	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○		○	5
	漢字の書（行書） 【知識及び技能】 ・行書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書体の筆遣いと楷書体の筆遣いを比較させ、違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典作品や他生徒作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（行書）の臨書・鑑賞プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導			○	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○		○	5
2 学 期	仮名の書 【知識及び技能】 仮名の成り立ちを学び、仮名と漢字の筆遣いを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆の臨書の学習を通じて、仮名の筆遣いの理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	仮名の書の臨書・鑑賞プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導			○	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や意図に基づいた表現力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢字仮名交じりの書や他生徒の作品鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字仮名交じりの書の創作・他生徒作品の鑑賞・意見交換 現代の書の鑑賞をさせ、創作の表現方法の効果について解説	○		○	創作作品、ワークシート、授業態度 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線画、余白による表現の工夫をしている。 目的や用途に即した表現形式、題材の解釈に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
3 学 期	漢字の書（草書・隷書） 【知識及び技能】 ・草・隷書体の古典作品を臨書し、各書体ごとの特徴を理解させ、技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 草・隷書体の基本運筆を練習させ、楷書体、行書体との違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・草・隷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書（草書・隷書）の臨書・鑑賞プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導			○	・各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 草・篆書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○		○	4
	硬筆 【知識及び技能】 日常の書（はがき、手紙）の書き方を学習し、硬筆の技能を身に付けさせる。 ・著作権について学習し、引用する場合の方法や注意点を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会における書の効用について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常に生かそうと意欲的に取り組む姿勢を育むとともに、自己の表現力にもつなげる。	はがき、手紙 ・漢字の書き順についての指導 ワークシート プリントによる解説 授業中での添削			○	ワークシート、授業態度 書式による書き方の違いや毛筆と硬筆での表現方法の違いを理解している。 著作権について理解している。 硬筆技能の向上に向けて主体的に学習に取り組もうとしている。	○		○	5 合 計 30

八丈高等学校定時制課程 令和6年度 教科 芸術 科目 書道Ⅱ 年間授業計画

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅱ 単位数： 1単位

対象学年組： 第4学年

教科担当者： 奥山恵美

使用教科書：（ 東京書籍 書道Ⅱ ）

使用教材：（ なし ）

	指導内容	書道Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	・漢字の書（楷書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導	漢字の書（楷書） ・用具・用材の特徴を理解しながら、楷書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 ・中学までの復習をするとともに、高校書道との違いを理解させる。書道の学習に必要な用具・用材の特質と扱い方を学び、用途に応じて使用および丁寧な扱いができるようにさせる。 ・楷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	2
5 月	・漢字の書（楷書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導	漢字の書（楷書） ・用具・用材の特徴を理解しながら、楷書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 ・中学までの復習をするとともに、高校書道との違いを理解させる。書道の学習に必要な用具・用材の特質と扱い方を学び、用途に応じて使用および丁寧な扱いができるようにさせる。 ・楷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	3
6 月	漢字の書（行書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導	漢字の書（行書） ・行書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 ・行書体の筆遣いと楷書体の筆遣いを比較させ、違いを理解させる。 ・古典作品や他生徒作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	4

	指導内容	書道Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	漢字の書（行書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導	漢字の書（行書） ・行書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 ・行書体の筆遣いと楷書体の筆遣いを比較させ、違いを理解させる。 ・古典作品や他生徒作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	1
8月				
9月	仮名の書の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導	仮名の書 ・仮名の成り立ちを学び、仮名と漢字の筆遣いを理解させる。 ・仮名の古筆の臨書の学習を通じて、仮名の筆遣いの理解を深めさせる。 ・仮名作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	2
10月	仮名の書の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導	仮名の書 ・仮名の成り立ちを学び、仮名と漢字の筆遣いを理解させる。 ・仮名の古筆の臨書の学習を通じて、仮名の筆遣いの理解を深めさせる。 ・仮名作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	4

	指導内容	書道Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	漢字仮名交じりの書の創作・他生徒作品の鑑賞・意見交換 現代の書の鑑賞をさせ、創作の表現方法の効果について解説	漢字仮名交じりの書 ・用具・用材の特徴と表現効果の関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や意図に基づいた表現力を身に付けさせる。 ・漢字仮名交じりの書や他生徒の作品鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	創作物品、ワークシート、授業態度 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質、余白による表現の工夫をしている。 目的や用途に即した表現形式、題材の解釈に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	3
12 月	漢字の書（草書・隸書）の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導	漢字の書（草書・隸書） ・草・隸書体の古典作品を臨書し、各書体ごとの特徴を理解させ、技能を身に付けさせる。 ・草・隸書体の基本運筆を練習させ、楷書体、行書体との違いを理解させる。 ・草・隸書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	・各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 草・篆書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	2
1 月	はがき、手紙 ・漢字の書き順についての指導 ・ワークシート プリントによる解説 授業中での添削	硬筆 ・日常の書（はがき、手紙）の書き方を学習し、硬筆の技能を身に付けさせる。 ・著作権について学習し、引用する場合の方法や注意点を身に付けさせる。 ・生活や社会における書の効用について理解させる。 ・日常に生かそうと意欲的に取り組む姿勢を育むとともに、自己の表現力にもつなげる。	ワークシート、授業態度 書式による書き方の違いや毛筆と硬筆での表現方法の違いを理解している。 著作権について理解している。 硬筆技能の向上に向けて主体的に学習に取り組もうとしている。	4

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 芸術 科目 美術 I

单位数： 1 单位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：浅野 美優

使用教科書：（ 高校生美術 1

教科 芸術

目標

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして創造的に発送し構想を練ったり、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	主体的に美術の幅広い創作活動に取り組む、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美的感覚を高め、美術文化に親しみに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	自己紹介似顔絵 【知識及び技能】 自身の顔をよく観察し、似顔絵を描くとともに、まとめた情報をイラスト化し、自分の似顔絵に取り入れられる。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介したい自分の情報を整理し、まとめる。また、他の生徒の作品を鑑賞し、良さや工夫点に気が付く。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら自身の長所や特技などを見つけるとともに、積極的に他の生徒と話し合いを行い、他者から見た自分の情報を見つける。	ワークシート、タブレットを用いて、1年間の授業と到達目標について把握し、意欲を高めている。 チームスに過去の作品を配布し、鑑賞を行う。自己紹介シートの記入、及び、自分の紹介する情報を整理し、ほかの生徒と意見交換を交えながら、文章としてまとめる。 整理した情報をイラスト化し、ケント紙に似顔絵を描くとともに自己紹介としての情報を絵画に取り入れることができる。	○	○	○	【知識・技能】 自身の顔をよく観察し、似顔絵を描くとともに、まとめた情報をイラスト化し、自分の似顔絵に取り入れることができる。 【思考・判断・表現】 紹介したい自分の情報を整理し、まとめる。また、他の生徒の作品を鑑賞し、良さや工夫点に気が付くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら自身の長所や特技などを見つけるとともに、積極的に他の生徒と話し合いを行い、他者から見た自分の情報を見つけることができる。	○	○	○	3
	八丈の風景 【知識及び技能】 画像などの情報をまとめた上で、「八丈島らしさ」をあらわした作品を描く。 【思考力、判断力、表現力等】 「八丈島らしさ」理解するとともに、絵柄やモチーフ、題材などを考え、アイデアスケッチに起こす。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に他の生徒と意見交換をし、参考となる情報を収集しまとめる。	タブレットやワークシートを用いて八丈島について調べ、鑑賞し、モチーフの要素を整理し理解する。マインドマップを作成し、八丈島についてで情報できるだけ多く書き出し、デザインに使用できそうな要素を整理する。 アイデアスケッチをもとに、ケント紙に丁寧に線を整えながら下描きを描く。	○	○	○	【知識及び技能】 画像などの情報をまとめた上で、「八丈島らしさ」をあらわした作品を描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「八丈島らしさ」理解するとともに、絵柄やモチーフ、題材などを考え、アイデアスケッチに起こすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に他の生徒と意見交換をし、参考となる情報を収集しまとめることができる。	○	○	○	9
2 学 期	季節の絵葉書 【知識及び技能】 季節に合ったデザインを考え、適切な画材を選択し丁寧に描く。 【思考力、判断力、表現力等】 季節のイラストとは何かを考えるとともに、小さい画面を効果的に活かす表現を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 参考作品を主體的に調べたり、画材の試し書きを行い、より良い作品を制作している。	季節に沿った絵葉書のアイデアを考え、アイデアスケッチを行う。 作品の雰囲気に合わせて画材を選択し、着色する。 モチーフの細密な部分まで描きこみ、仕上げる。	○	○	○	【知識・技能】 季節に合ったデザインを考え、適切な画材を選択し丁寧に描くことができる。 【思考・判断・表現】 季節のイラストとは何かを考えるとともに、小さい画面を効果的に活かす表現を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品を主體的に調べたり、画材の試し書きを行い、より良い作品を制作していることができる。	○	○	○	2
	木版画 【知識及び技能】 木版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げる。 【思考力、判断力、表現力等】 木版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げる。 【学びに向かう力、人間性等】 主體的に参考作品を調べるとともに、好みの面画を見つける。	タブレットやワークシートを用いて木版画作品を鑑賞し、木版画独特の表現について理解し、アイデアを練る。 練ったアイデアスケッチをもとに、版木に下絵を描き、練ったアイデアスケッチをもとに、版木に下絵を描く。 影となる部分や模様となる部分を、適切な彫刻刀を選択し丁寧に削り出す。 作品の雰囲気に合った色を選定し、水彩絵の具を適切な濃さで版木に塗り、和紙に転写する。	○	○	○	【知識・技能】 木版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げることができる。 【思考・判断・表現】 木版画の技法が自身の創作したいアイデアにどのように活かせたかを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 木版画の技法が自身の創作したいアイデアにどのように活かせたかを考えることができる。	○	○	○	9
3 学 期	リサイクル紙作り 【知識及び技能】 創意工夫を凝らしたオリジナルの和紙をデザインするとともに、紙漉きの技術を学習し制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 和紙の構造を理解し、使用できる用途を考える他、用途に合わせたデザインを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主體的に材料を集め、また、ほかの生徒と意見交換を拡げる。	和紙の作る過程を学習し、自身が和紙に取り入れた材料を選定する。 溶かした牛乳パックを紙漉きし、任意の材料を用いて和紙を彩る。 完成した和紙を活用し、ほかの作品を制作する。	○	○	○	【知識・技能】 創意工夫を凝らしたオリジナルの和紙をデザインするとともに、紙漉きの技術を学習し制作することができる。 【思考・判断・表現】 和紙の構造を理解し、使用できる用途を考える他、用途に合わせたデザインを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 主體的に材料を集め、また、ほかの生徒と意見交換を拡げることができる。	○	○	○	3
	コマ送りアニメ 【知識及び技能】 アニメーションの仕組みを理解し、物語性のある10コマのアニメーションを作る。 【思考力、判断力、表現力等】 アニメーションを制作する過程で、どのようにしてコマを展開すれば効果的であるかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主體的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換しながら制作に取り組む。	限られたコマ数の中でどのような物語を組みつか考え、絵コンテを制作する。 絵コンテをもとに写真撮影し、微調整をしながら必要な素材を集め、撮影した写真をもとに、アニメーションを作る。	○	○	○	【知識及び技能】 アニメーションの仕組みを理解し、物語性のある10コマのアニメーションを作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 アニメーションを制作する過程で、どのようにしてコマを展開すれば効果的であるかを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主體的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組むことができる。	○	○	○	5 合計 31

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科目：美術Ⅱ

単位数：1 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：浅野 美優

使用教科書： 高校生の美術 1

教科 芸術

目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	主体的に美術の幅広い創作活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映							
1 学 期	自己紹介似顔絵 【知識及び技能】 自身の顔をよく観察し、似顔絵を描くとともに、まとめた情報をイラスト化し、自分の似顔絵に取り入れられる。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介したい自分の情報を整理し、まとめる。また、他の生徒の作品を鑑賞し、良さや工夫点に気が付く。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら自身の長所や特技などを見つけるとともに、積極的に他の生徒と話し合いを行い、他者から見た自分の情報を見つける。	ワークシート、タブレットを用いて、1年間の授業と到達目標について把握し、意欲を高める。 チームスに過去の作品を配布し、鑑賞を行う。 自己紹介シートの記入、及び、自分の紹介する情報を整理し、ほかの生徒と意見交換を交えながら、文章としてまとめる。 整理した情報をイラスト化し、ケント紙に似顔絵を描くとともに自己紹介としての情報を絵画に取り入れることができる。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 自身の顔をよく観察し、似顔絵を描くとともに、まとめた情報をイラスト化し、自分の似顔絵に取り入れることができる。 【思考・判断・表現】 紹介したい自分の情報を整理し、まとめる。また、他の生徒の作品を鑑賞し、良さや工夫点に気が付くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら自身の長所や特技などを見つけるとともに、積極的に他の生徒と話し合いを行い、他者から見た自分の情報を見つけることができる。	○	○	○	3
	キャラクターデザイン 【知識及び技能】 情報をまとめた上で、キャラクターとはどのようにしてできるかを理解し、自己投影されたキャラクターのデザインをする。 【思考力、判断力、表現力等】 キャラクターとはなにか学習し、理解するとともに、自己とは何か考え、アイデアスケッチに起こす。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に他の生徒と意見交換をし、参考となる情報を収集しまとめる。	タブレットやワークシートを用いて既存のキャラクター調べ、鑑賞し、モチーフの要素を整理しながらキャラクターとはどのようにしてつくられるのか理解する。マインドマップを作成し、自分についての情報できるだけ多く書き出し、デザインに使用できそうな要素を整理する。 アイデアスケッチをもとに、ケント紙に丁寧に線を整えながら下書きを描く。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 情報をまとめた上で、キャラクターとはどのようにしてできるかを理解し、自己投影されたキャラクターのデザインをすることができる。 【思考・判断・表現】 キャラクターとはなにか学習し、理解するとともに、自己とは何か考え、アイデアスケッチに起こすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に他の生徒と意見交換をし、参考となる情報を収集しまとめることができる。	○	○	○	9
2 学 期	残暑絵葉書 【知識及び技能】 季節に合ったデザインを考え、適切な画材を選択し丁寧に描く。 【思考力、判断力、表現力等】 季節のイラストとは何かを考えるとともに、小さい画面を効果的に活かす表現を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 参考作品を主体的に調べたり、画材の試し書きを行い、より良い作品を制作している。	季節に沿った絵葉書のアイデアを考え、アイデアスケッチを行う。 作品の雰囲気に合わせて画材を選択し、着色する。 モチーフの細密な部分まで描きこみ、仕上げる。	○	○		○	○	【知識・技能】 季節に合ったデザインを考え、適切な画材を選択し丁寧に描くことができる。 【思考・判断・表現】 季節のイラストとは何かを考えるとともに、小さい画面を効果的に活かす表現を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品を主体的に調べたり、画材の試し書きを行い、より良い作品を制作していることができる。	○	○	○	2
	回版画 【知識及び技能】 回版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げる。 【思考力、判断力、表現力等】 木版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に参考作品を調べるとともに、好みの画風を見つける。	タブレットやワークシートを用いて回版画作品を鑑賞し、回版画独特の表現について理解し、アイデアを練る。 練ったアイデアスケッチをもとに、PP版に下絵を描き、練ったアイデアスケッチをもとに、PP版に下絵を描く。 影となる部分や模様となる部分を、適切なノードルやカッターを選択し丁寧に削り出す。 作品の雰囲気に合った色を選定し、油絵の具を適切な濃さで版木に塗り、水彩紙に転写する。	○	○		○	○	【知識・技能】 回版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げることができる。 【思考・判断・表現】 回版画の技法が自身の創作したいアイデアにどのように活かせるのか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 回版画の技法が自身の創作したいアイデアにどのように活かせるのか考えることができる。	○	○	○	9
3 学 期	和紙作り 【知識及び技能】 創意工夫を凝らしたオリジナルの和紙をデザインするとともに、紙漉きの技術を学習し制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 和紙の構造を理解し、使用できる用途を考える他、用途に合わせたデザインを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に材料を集め、また、ほかの生徒と意見交換を拡げる。	和紙の作る過程を学習し、自身が和紙に取り入れたい材料を選定する。 溶かした牛乳パックを紙漉きし、任意の材料を用いて和紙を彩る。 完成した和紙を活用し、ほかの作品を制作する。	○	○	○		○	【知識・技能】 創意工夫を凝らしたオリジナルの和紙をデザインするとともに、紙漉きの技術を学習し制作することができる。 【思考・判断・表現】 和紙の構造を理解し、使用できる用途を考える他、用途に合わせたデザインを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に材料を集め、また、ほかの生徒と意見交換を拡げることができる。	○	○	○	3
	10コマアニメ 【知識及び技能】 アニメーションの仕組みを理解し、物語性のある10コマのアニメーションを作る。 【思考力、判断力、表現力等】 アニメーションを制作する過程で、どのようにしてコマを展開すれば効果的であるか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組む。	限られたコマ数の中でどのような物語を組むか考え、絵コンテを制作する。 絵コンテをもとに写真を撮影し、微調整をしながら必要な素材を集め、撮影した写真をもとに、アニメーションを作る。						【知識及び技能】 アニメーションの仕組みを理解し、物語性のある10コマのアニメーションを作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 アニメーションを制作する過程で、どのようにしてコマを展開すれば効果的であるか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組むことができる。			○	5 合計 31

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科

芸術

科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：島田 裕次郎

使用教科書：（教育芸術社 高校生の音楽 I

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽について歌唱・器楽・創作で表現するための知識・技能を習得し、音楽文化の理解を深めること。鑑賞に関すること。	音楽表現を工夫し、表現意図をもち、創造的に表す能力を身に付けること。	音楽への関心・意欲・態度・感性・生涯にわたり音楽を愛好する心情・音楽文化を尊重する態度・豊かな情操を身に付けること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	単元：校歌歌唱 【知】音、声の仕組みを理解する。 【思】歌声に必要な要素を考えることができる。 【学】他者と協力し、より良い演奏にむけて取り組むことができる。	【指導事項】 ・階名歌唱により正しい音程で歌う ・正しいリズムを身に付ける ・鼻濁音を意識した美しい日本語の発音 ・呼吸法の習得 ・発声の基本を身に付ける	○			○	・正しい音程とリズムで歌うことができる ・美しい日本語で歌うことができる ・子音が聞き取ることができる ・母音がレガートである	○	○	○	3
	単元：ギター演奏 【知】コードについて正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・G, D, Cのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○		○	・G, D, Cのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	3
	単元：ギター演奏 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ギターによる旋律演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○		○	・旋律演奏 「ペーパーテスト」 ・音名・音程・音符と休符・拍子・音階・調号・和音・記号など基礎的な楽典を理解できるか。 ・ワークシートによる練習により理解が深まるか。	○	○	○	3
	単元：ギター合奏 【知】コード、旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ギター合奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○			「観察や対話による評価」・個人練習、パート別練習について正しく譜読みができているか。 ・他者と協力しながら取り組んでいるか。 「実技（実演）の評価」 ・個人演奏テスト・自己他者評価	○	○	○	4
2 学 期	単元：ピアノ演奏 【知】コードについて正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによるコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○		○	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	2
	単元：ピアノ演奏 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによる旋律演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○			・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	3
	単元：ピアノ弾き歌い 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによる弾き歌い ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	3
	単元：ピアノ弾き歌い 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによる弾き歌い ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	2

3 学 期	単元：楽器演奏 【知】様々な楽器の特性を理解する 【思】合奏のための楽器について考え、選ぶことができる。 【学】グループ演奏について他者と協働し練習に取り組むことができる。	【指導事項】・これまで学んできた知識と技術を活用し、グループ演奏を作り上げることができるか。 【教材・タブレット】・ICT機器・参考動画	○			「実技（実演）」の評価 ・楽器の演奏（ペアワーク） ・自己他者評価	○	○	○	3	
	単元：グループによる合奏 【知】選曲に合わせた楽器を選び、楽譜の譜読みができる。 【思】練習計画やポイントなど考えることができる。 【学】他者と協力し、よりよい演奏を目指して取り組むことができる。	【指導事項】・各楽器の楽譜を理解し、正しく演奏することができる。・パート別楽譜をそれぞれ理解させ、段階的な練習に取り組む。 【教材・タブレット】・ICT機器・参考動画	○	○		「観察や対話による評価」 ・学んだ音楽に対する知識を活かし、創意工夫や他者との協力によってよりよい演奏を目指し、取り組むことができるか。 「実技（実演）」の評価 ・グループ合奏（実技） ・自己他者評価 振り返りと、今後の音楽との関りについて考えることができるか。	○	○	○	4	
	単元：音楽鑑賞 【知】オペラの内容理解 【思】音楽に込められた作曲家の意図を探る。 【学】音楽理論の基本を理解し、鑑賞に生かす。	【指導事項】・これまで学んできた知識と技術を、鑑賞に生かす。 【教材・タブレット】・ICT機器・参考動画		○		・曲想と歌詞の関りや、旋律の特徴を知る。 ・歌詞の内容を理解する。	○	○	○	2	
											合計

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅱ 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者： 島田 裕次郎

使用教科書： (教育芸術社 高校生の音楽Ⅱ)

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽について歌唱・器楽・創作で表現するための知識・技能を習得し、音楽文化の理解をより一層深めること。鑑賞に関すること。	音楽表現を工夫し、表現意図をもち、創造的に表す能力を身に付けること。	音楽への関心・意欲・態度・感性・生涯にわたり音楽を愛好する心情・音楽文化を尊重する態度・豊かな情操を身に付けること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	単元：校歌歌唱 【知】音、声の仕組みを理解する。 【思】歌声に必要な要素を考えることができる。 【学】他者と協力し、より良い演奏にむけて取り組むことができる。	【指導事項】 ・階名歌唱により正しい音程で歌う ・正しいリズムを身に付ける ・鼻濁音を意識した美しい日本語の発音 ・呼吸法の習得 ・発声の基本を身に付ける	○			○	・正しい音程とリズムで歌うことができる ・美しい日本語で歌うことができる ・子音が聞き取ることができる ・母音がレガートである	○	○	○	3
	単元：ギター演奏 【知】コードについて正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・G, D, Cのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○		○	・G, D, Cのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	3
	単元：ギター演奏 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ギターによる旋律演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○		○	・旋律演奏 「ペーパーテスト」 ・音名・音程・音符と休符・拍子・音階・調号・和音・記号など基礎的な楽典を理解できるか。 ・ワークシートによる練習により理解が深まるか。	○	○	○	3
	単元：ギター合奏 【知】コード、旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ギター合奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○			「観察や対話による評価」・個人練習、パート別練習について正しく譜読みができているか。 ・他者と協力しながら取り組んでいるか。 「実技（実演）の評価」 ・個人演奏テスト・自己他者評価	○	○	○	4
2 学 期	単元：ピアノ演奏 【知】コードについて正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによるコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○		○	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	2
	単元：ピアノ演奏 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによる旋律演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習		○			・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	3
	単元：ピアノ弾き歌い 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによる弾き歌い ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	3
	単元：ピアノ弾き歌い 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによる弾き歌い ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	2

3 学 期	単元：楽器演奏 【知】様々な楽器の特性を理解する 【思】合奏のための楽器について考え、選ぶことができる。 【学】グループ演奏について他者と協働し練習に取り組むことができる。	【指導事項】・これまで学んできた知識と技術を活用し、グループ演奏を作り上げることができるか。 【教材・タブレット】・ICT機器・参考動画	○			「実技（実演）」の評価 ・楽器の演奏（ペアワーク） ・自己他者評価	○	○	○	3	
	単元：グループによる合奏 【知】選曲に合わせた楽器を選び、楽譜の譜読みができる。 【思】練習計画やポイントなど考えることができる。 【学】他者と協力し、よりよい演奏を目指して取り組むことができる。	【指導事項】・各楽器の楽譜を理解し、正しく演奏することができる。・パート別楽譜をそれぞれ理解させ、段階的な練習に取り組む。 【教材・タブレット】・ICT機器・参考動画	○	○		「観察や対話による評価」 ・学んだ音楽に対する知識を活かし、創意工夫や他者との協力によってよりよい演奏を目指し、取り組むことができるか。 「実技（実演）」の評価 ・グループ合奏（実技） ・自己他者評価 振り返りと、今後の音楽との関りについて考えることができるか。	○	○	○	4	
	単元：音楽鑑賞 【知】オペラの内容理解 【思】音楽に込められた作曲家の意図を探る。 【学】音楽理論の基本を理解し、鑑賞に生かす。	【指導事項】・これまで学んできた知識と技術を、鑑賞に生かす。 【教材・タブレット】・ICT機器・参考動画		○		・曲想と歌詞の関りや、旋律の特徴を知る。 ・歌詞の内容を理解する。	○	○	○	2	
											合計

八丈高等学校 定時制課程 令和6年度 教科 芸術 科目 音楽 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：1単位

対象学年組：第4学年

教科担当者：島田 裕次郎

使用教科書：（教育芸術社 高校生の音楽Ⅱ）

使用教材：（自作プリント）

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	校歌歌唱	【知】音、声の仕組みを理解する。 【思】歌声に必要な要素を考えることができる。 【学】他者と協力し、より良い演奏にむけて取り組むことができる。	・正しい音程とリズムで歌うことができる ・美しい日本語で歌うことができる ・子音が聞き取ることができる ・母音がレガートである	2
5月	ギター演奏	【知】コードについて正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	・G, D, Cのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	3
6月	ギター演奏	【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	・旋律演奏「ペーパーテスト」 ・音名・音程・音符と休符・拍子・音階・調号・和音・記号など基礎的な楽典を理解できるか。 ・ワークシートによる練習により理解が深まるか。	4

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	ギター演奏	【知】コード、旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	「観察や対話による評価」・個人練習、パート別練習について正しく譜読みができているか。・他者と協力しながら取り組んでいるか。 「実技（実演）の評価 ・個人演奏テスト・自己他者評価	1
8月				
9月	ピアノ演奏	【知】コードについて正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	2
10月	ピアノ演奏	【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	4

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	ピアノ弾き歌い	【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	3
12 月	ピアノ弾き歌い	【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	・C、G、D、Bmのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	2
1 月	楽器演奏	【知】様々な楽器の特性を理解する 【思】合奏のための楽器について考え、選ぶことができる。 【学】グループ演奏について他者と協働し練習に取り組むことができる。	「実技（実演）の評価 ・楽器の演奏（ペアワーク） ・自己他者評価	4

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭

科 目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： 佐藤 佑花

使用教科書： (大修館 Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう)

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、実践的・体験的な学習活動を通して、関連する技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識及び技能】 ・人の一生について、ライフステージ全体を見通し、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・よりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の構築に向けて、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・生涯の生活設計 ・家族・家庭の機能 ・家族・家庭の法律 ・家族・家庭と社会	【知識及び技能】 ・青年期の発達課題や5つの自立、家族にかかわる様々な名称と内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者との価値観の違いに気づいたり、自立しなければいけないことを整理したりして考察することができる。 ・家族類型や世帯の変化を理解し、その理由について根拠をもとに説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自立を達成するために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。 ・家族・家庭のよりよい生活のために課題の解決に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切にかかわるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子供を生み、育てることの意義について考えとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について課題の発見と解決に向け考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子供への適切なかかわり方を考えたり、保育について考え、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・乳幼児の心身の発達 ・乳幼児期の生活 ・親の役割と保育 ・子供を取り巻く社会環境	【知識及び技能】 ・子供の健全な発達を支援するために必要な基礎的・基本的な知識・技術身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・親や保育者として必要なかかわりを考え、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・乳幼児の心身の発達や特徴に興味・関心をもち、どのように子供とかかわるか考え、主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について課題の発見と解決に向け考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人の一生における高齢期に関心をもち、学習に主体的に取り組む。	・指導事項 ・高齢期の心身の特徴 ・高齢者を取り巻く社会環境 ・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護	【知識及び技能】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者がどのような生活を送っているのかについて課題の発見と解決に向け考察し、工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人の一生における高齢期に関心をもち、学習に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を通し、生活課題を自分で見つけ、解決し、生活を創造できる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の生活を振り返り、課題の発見と解決に向け考察し、計画に従って実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題解決をめざして、主体的に取り組む。	・指導事項 ・身近な生活問題の解決をめざそう	【知識及び技能】 ・ホームプロジェクトについて理解し、よりよい生活に向けて必要な情報を収集・整理することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の生活課題を見だし、課題解決をめざして具体的に考え、実践することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に計画を立てて取り組むことができている。	○	○	○	2

2 学 期	【知識及び技能】 ・家計の構造や生活における経済と社会のかかわり、家計管理について理解する。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性についてライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的自立について考え、学習に主体的に取り組む。	・指導事項 ・生活を営むためのお金 ・18歳で変わる消費生活 ・消費者トラブル ・経済の仕組み ・キャッシュレス社会 ・「お金を借りる」ということ ・家を借りる計画を立ててみよう	【知識及び技能】 ・経済的自立の意味や生活に必要な支出と生活資金について理解している。 ・生活における経済と社会とのかかわりについて理解を深め、消費生活の現状と課題について情報の収集・整理が適切にできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来送りたい生活をイメージし、実現するための方法について、実際の生活に即して具体的に考えることができています。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的自立の必要性を理解し、自分の理想とする生活をめざそうとする意欲がある。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装、被服材料や被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい衣生活に向けて考え、主体的に取り組む。	・指導事項 ・人と被服のかかわり ・快適な被服の条件 ・被服材料・構成 ・被服実習	【知識及び技能】 ・被服材料や管理について科学的に理解し、健康で快適な衣生活を送るための基礎的な知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分自身が衣生活を営む主体であることを意識し、幅広い視点から衣生活を捉えることができています。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らの力で衣生活をマネジメントできるよう考え、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
3 学 期	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「食べる」ことの意義や重要性について考えるとともに、健康や環境に配慮した食生活について考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の食生活について振り返り、よりよい食生活に向けて主体的に取り組む。	・指導事項 ・食事の役割と食生活 ・食品の栄養的特徴 ・食品の調理上の性質 ・食品衛生 ・調理実習	【知識及び技能】 ・一生を過ごす体をつくるために食事の重要性について理解し、食生活や調理に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の食生活について振り返り、社会的状況などと関連させながら課題の発見と解決に向けて考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活の重要性を認識し、よりよい食生活を送るために自分の食習慣に向き合い、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	12
							合計

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報 科 目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者： 伊藤 隆晃

使用教科書：（東京書籍 -新編- 情報Ⅰ ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身につけていること。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていること。

【学びに向かう力、人間性等】情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身につけていること。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人とののかかりについて理解を深めるようになる。	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
21-	A. 情報で問題を解決する 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する活動を通して、情報社会の問題の解決に役立てようとする態度を養う。	・情報モラルについて理解を進める。 ・メディアリテラシーを身に付けさせる。 ・Wordの習得をさせる。 ・Teamsの基本的な使い方を教える。 ・著作権への理解を深める。 ・情報技術の発展について理解させる。	【知識・技能】 ・情報の特性から情報とは何か理解できる。 ・情報やメディアの特性を理解できる。 ・情報に関する法規や制度があることを理解できる。 ・個人情報があるどのようなものか理解できる。 ・個人情報が流出・特定される仕組みを理解できる。 ・著作権の内容を理解できる。 ・情報技術による社会・生活の変化が理解できる。 ・情報化による健康への影響などの「影」の部分を理解できる。 ・デジタルデバイドとユニバーサルデザインを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・各メディアのメリット、デメリットが判断できる。 ・情報モラルに配慮して情報を発信することができる。 ・SNS等で加害者や被害者にならないための対応が判断できる。 ・セキュリティ上よいとされるパスワードはどのようなものか判断できる。 ・学校で利用できる著作物を判断できる。 ・電子マネーと現金のメリットとデメリットを考えることができる。 ・サイバー犯罪への対応を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「情報デザイン」についての理解を深めようとしている。 ・学んだWordの技術で、新たな文章を作成しようとしている。 ・情報モラルを理解し、生徒自身がメディアを使うときのルールやマナーを再確認し、日常生活に生かそうとしている。	○	○	○	12
1 学 期	B. 情報を伝える 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解すること。情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する。メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択すること。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考案する。	・2進数について理解をする。 ・音や画像をデジタル表現する際の工程を学ぶ。 ・コンピュータにおける色の表現方法について学ぶ。 ・情報デザインについて学ぶ。 ・ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・Excelの基礎を習得させる。	【知識・技能】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を、その変遷も踏まえて理解できる。 ・ネットコミュニケーションの特性を理解できる。 ・匿名性のメリット、デメリットを理解できる。 ・2進法、10進法、16進法の仕組みが理解できる。 ・文字コードが理解できる。 ・デジタル化の標準化、量子化、符号化が理解できる。 ・光と色の三原色を理解できる。 ・動画の仕組みが理解できる。 ・画像や音声の圧縮形式を理解できる。 ・情報デザインの目的を理解できる。 ・抽象化、可視化、構造化の方法を理解できる。 ・ユニバーサルデザインについて理解できる。 ・ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンスを理解できる。 ・情報デザインのプロセスを理解できる。 ・デザイン思考に基づいた分析を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴から適切な情報の表現ができる。 ・通信メディアの進歩による社会や生活の変化を考察することができる。	○	○	○	10

	効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する活動を通して、情報社会の問題の解決に役立てようとする態度を養う。メディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通して、情報技術を駆使し、伝える態度を養う。	・デジタルデータとアナログデータを区別できる。 ・デジタル情報とアナログ情報のメリットとデメリットを考えることができる。 ・画像や音声の圧縮形式は何であるか判断できる。 ・情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現できる。 ・ユーザインタフェースの問題点を考えることができる。 ・想定したユーザの考えや行動を分析できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・WordやExcelの技術を生かして、様々な資料をまとめようとしている。 ・WordやExcelの技術を生かして、情報デザインに関しての理解を深めようとしている。 ・ユニバーサルデザインに即した情報デザインを作成しようとしている。					
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	C. コンピュータを活用する 【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解すること。アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けること。社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善すること。目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し、プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する活動を通して、コンピュータを活用しようとする態度を養う。	・Pythonプログラムの基礎を構築する。 ・アルゴリズムの表現ができるようになる。 ・フローチャートが作れるようになる。 ・演算がプログラム上でできるようになる。	【知識・技能】 ・コンピュータの基本構成を理解できる。 ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの役割を理解できる。 ・CPUでのプログラムの実行の仕組みを理解できる。 ・プログラミング言語の種類を理解できる。 ・コンピュータの演算の方法とその限界を理解できる。 ・AND、OR、NOT回路の仕組みを理解できる。 ・プログラムとアルゴリズムの関係を理解できる。 ・フローチャートでアルゴリズムを表現することができる。 ・プログラムを作ることができる。 ・プログラムを構成する変数を理解できる。 【思考・判断・表現】 分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、プログラムを作ろうとしている。	○	○	○	10
	D. コンピュータを活用する 【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解すること。アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けること。社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善すること。目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し、プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する活動を通して、コンピュータを活用しようとする態度を養う。	・プログラムの構造に関して、より深い理解をさせる。 ・モデル化やシミュレーションに関しての意味合いを理解する。	【知識・技能】 ・制御構造を組み合わせてプログラムを作成できる。 ・配列とリストの意味と使い方を理解できる。 ・関数の意味と利用方法を理解できる。 ・物理モデル、図的モデル、数値モデルを理解できる。 ・モデル化とシミュレーションにおける注意点を理解できる。 ・表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・モデル化の方法や、モデルの適切性を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デバッグを行い、プログラムを改善しようとしている。	○	○	○	10

	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	E. データを活用する 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解すること。データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解すること。データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えること。情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークを介して流通するデータに着目し、情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを活用し、問題を発見・解決する活動を通して、データを活用する態度を養う。	・Excelを使い、データを正しく活用する手段を学ぶ。 ・インターネットの仕組みを理解する。 ・情報セキュリティについて理解する。 ・データを分析できる手段を養う。	【知識・技能】 ・インターネットとはどのようなものか、理解できる。 ・LANとWANの違いを理解できる。 ・プロトコルと、その1つであるTCP/IPを理解できる。 ・ルータとハブの役割を理解できる。 ・IPアドレスの調べ方が身についている。 ・サーバとクライアントの役割を理解できる。 ・DNSの役割と動作の仕組みを理解できる。 ・Webページを閲覧する仕組みを理解できる。 ・電子メールを送受信する仕組みを理解できる。 ・個人認証と暗号化について理解できる。 ・ファイアウォールについて理解できる。 ・質的データと量的データの違いを理解できる。 ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度の違いを理解できる。 ・データベースの利点を理解できる。 ・銀行システム、POSシステムでのデータベースの利用方法を理解できる。 ・データベース管理システムの必要性を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・ドメイン名とメールアドレス、URLの関係を判断できる。 ・ネットワークのトラブルが起こった際に対応を判断できる。 ・あるデータがどの尺度に当たるか判断できる。 ・関係データベースの操作ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デバッグを行い、プログラムを改善しようとしている。 ・データ分析の結果と解釈を振り返りながら、データ分析の改善をしようとしている。	○	○	○	10
							合計
							54

ベーシック 科目 ベーシック

教科： ベーシック

科 目： ベーシック

单位数： 1 单位

対象学年組：第 1 学年 1組

教科担当者： 鈴木耕大、佐藤美波、富永一哉、荒井岳大

使用教科書：（ なし

教科 ベーシック

の目標：

【知識及び技能】

基本的計算力と基本的な漢字の読み書き（漢字検定2級相当まで）、基礎的な英語表現、及び進路に必要な知識や技能を高める。

【思考力、判断力、表現力等】

個人の学力や進度、進路に必要な知識について理解し、工夫して学習に取り組む力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】

100マス計算や各自の学習プリントに取り組むことにより、集中力や継続力を高める。

科目 ベーシック

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的計算力と基本的な漢字の読み書き（漢字検定2級相当まで）、基礎的な英語表現、及び進路に必要な知識や技能を高める。	個人の学力や進度、進路に必要な知識について理解し、工夫して学習に取り組む力を高める。	100マス計算や各自の学習プリントに取り組むことにより、集中力や継続力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	10
2 学期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	11
3 学期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	8
							合計
							29

ベーシック 科目 ベーシック

教科： ベーシック

科 目： ベーシック

单位数： 1 单位

対象学年組：第 2 学年 1組

教科担当者： 鈴木耕大、佐藤美波、富永一哉、荒井岳大

使用教科書：（ なし

教科 ベーシック

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

基本的計算力と基本的な漢字の読み書き（漢字検定2級相当まで）、基礎的な英語表現、及び進路に必要な知識や技能を高める。

【思考力、判断力、表现力等】

個人の学力や進度、進路に必要な知識について理解し、工夫して学習に取り組む力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】

100マス計算や各自の学習プリントに取り組むことにより、集中力や継続力を高める。

科目 ベーシック

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的計算力と基本的な漢字の読み書き（漢字検定2級相当まで）、基礎的な英語表現、及び進路に必要な知識や技能を高める。	個人の学力や進度、進路に必要な知識について理解し、工夫して学習に取り組む力を高める。	100マス計算や各自の学習プリントに取り組むことにより、集中力や継続力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	10
2 学期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	11
3 学期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	8
							合計
							29

八丈 高等学校定時制課程 令和6年度 教科

教科：ベーシック

科目：ベーシック

ベーシック 科目 ベーシック

単位数：1 単位

対象学年組：第 3 学年 1組

教科担当者：（ 1組：鈴田耕大 佐藤美波 富永一哉 荒井岳大 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 ベーシック

の目標：

【知識及び技能】

基本的計算力と基本的な漢字の読み書き（漢字検定2級相当まで）、基礎的な英語表現、及び進路に必要な知識や技能を高める。

【思考力、判断力、表現力等】

個人の学力や進度、進路に必要な知識について理解し、工夫して学習に取り組む力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】

100マス計算や各自の学習プリントに取り組むことにより、集中力や継続力を高める。

科目 ベーシック

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的計算力と基本的な漢字の読み書き（漢字検定2級相当まで）、基礎的な英語表現、及び進路に必要な知識や技能を高める。	個人の学力や進度、進路に必要な知識について理解し、工夫して学習に取り組む力を高める。	100マス計算や各自の学習プリントに取り組むことにより、集中力や継続力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組む、自己に適した学習方法で進めている。 【学】45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	10
2 学 期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組む、自己に適した学習方法で進めている。 【学】45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	11
3 学 期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組む、自己に適した学習方法で進めている。 【学】45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	8 合計 29

八丈高等学校定時制課程 令和6年度 教科ベーシック 科目ベーシック 年間授業計画

教科：ベーシック 科目：ベーシック 単位数：1単位
対象学年組：第4学年1組
教科担当者：鈴田耕大、佐藤美波、富永一哉、荒井岳大
使用教科書：（なし）
使用教材：（なし）

	指導内容	ベーシックの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	単元：ベーシック ・基礎的な計算や読み書きの理解。 ・自己に合った学習方法の確立。 ・自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	・基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 ・習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 ・45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	2
5月	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	単元：ベーシック ・基礎的な計算や読み書きの理解。 ・自己に合った学習方法の確立。 ・自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	・基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 ・習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 ・45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	3
6月	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	単元：ベーシック ・基礎的な計算や読み書きの理解。 に合った学習方法の確立。 ・自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	・自己 ・基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 ・習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 ・45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	4

	指導内容	ベーシックの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	単元：ベーシック ・基礎的な計算や読み書きの理解。 ・自己に合った学習方法の確立。 ・自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	・基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 ・習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 ・45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	1
8月				
9月	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	単元：ベーシック ・基礎的な計算や読み書きの理解。 ・自己に合った学習方法の確立。 ・自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	・基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 ・習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 ・45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	2
10月	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	単元：ベーシック ・基礎的な計算や読み書きの理解。 ・自己に合った学習方法の確立。 ・自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	・基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 ・習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 ・45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	4

	指導内容	ベーシックの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	単元：ベーシック ・基礎的な計算や読み書きの理解。 ・自己に合った学習方法の確立。 ・自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	・基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 ・習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 ・45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	3
12 月	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	単元：ベーシック ・基礎的な計算や読み書きの理解。 ・自己に合った学習方法の確立。 ・自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	・基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 ・習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 ・45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	2
1 月	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等	単元：ベーシック ・基礎的な計算や読み書きの理解。 ・自己に合った学習方法の確立。 ・自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	・基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 ・習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 ・45分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	4